

衆議院第六十三回帝國議會院不動產融資及損失補償法案外一件委員會議錄(速記)第三回

(政府提出) 不動産融資及損失補償法案(政府提出)  
昭和七年法律第六號中改正法律案(昭和七年度一般  
會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件)

出席委員左ノ如シ	出席委員左ノ如シ	出席委員左ノ如シ	出席委員左ノ如シ
委員長 金光 康夫君	理事青木雷三郎君 理事大崎 清作君	理事松尾 四郎君	鈴木 英雄君 大石 倫治君
小笠原三九郎君 井阪 豊光君	坪山 徳彌君 太田 正孝君	野田 俊作君	吉川吉郎兵衛君
勝 正憲君 中島彌團次君 風見 章君	豊田 豊吉君	野田 俊作君	吉川吉郎兵衛君
出席政府委員左ノ如シ	出席政府委員左ノ如シ	出席政府委員左ノ如シ	出席政府委員左ノ如シ
大藏省銀行局長 大久保債次君	大藏省銀行局長 大久保債次君	大藏省銀行局長 大久保債次君	大藏省銀行局長 大久保債次君
不動産融資及損失補償法案(政府提出)	不動産融資及損失補償法案(政府提出)	不動産融資及損失補償法案(政府提出)	不動産融資及損失補償法案(政府提出)
○金光委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前 回ニ引續キ不動産融資及損失補償法案ノ質 問ヲ繼續致シマス	○武田委員 私ハ尙ホ二三點質問致シタイ ト	○武田委員 私ハ尙ホ二三點質問致シタイ ト	○武田委員 私ハ尙ホ二三點質問致シタイ ト
アルノデアリマス、暫クノ時間ヲ御與 ヘテ願ヒタイト思ヒマス、先づ御伺ヲ申上 ゲタイコトハ、是ハ本案ニハ規定ハアリマ セヌケレドモ、大藏大臣ノ豫算ノ説明ニ依 リマシテモ、亦豫算綱要ニモ其事ガ書イテ アルノデアリマスカラ、政府トシテハ確定 ノコト、思ヒマスガ、即チ此度ノ本案ニ依 ル融資總額ヲ五億圓ト御決定ニナッタ根據 ハ何レニアルカト云フコトヲ承リタイノデ アリマス、是ハ本會議ニ於テモ質問ガアッタ ノデアリマシテ、大藏大臣ハ此點ニ付テハ 數字的ノ關係ニ於テ云々ト云フコトヲ特ニ 御答辯ニナッテ居ルノデアリマス、併シは 最モ重大ナコトデ、或ル意味ニ於テハ本案ノ 中心ニナルベキ問題デアリマスル、即チ融 資ノ總額ト補償額ト云フコトハ一番論議ノ 中心點ニナルベキ問題デアリト斯様ニ考へ テ居ルノデアリマシテ、少シク立入ッテ御伺 チシタイ點デアルノデアリマス、先づ其御 説明ヲ承ル前ニ、私ノ懷イテ居ルコトヲ多少 述べテ見タイト思フノデアリマス、昨日來 述べテ見タイト思フノデアリマス、昨日來 再三御詰ガアリマシタ如ク、今日ノ普通銀 行ガ不動産ニ固定シテ居ル金額ハ約十六億 圓ト云ハレテ居ルノデアリマスガ、其中昨 日來御詰ノアリマシタ如ク、所謂一流銀行 ス、假ニ二億ト致シマスレバ、十四億ノ不 動産ニ固定シテ居ル資金ガ、此度ノ融資ノ 目的デナケレバナラヌノデアリマス、然ル ニ之ヲ五億圓ト決定サレマシタルコトハ、 約三分ノ一二過ギナインデアリマス、是ハ ドウ云フ意味デアリマセウカ、不動産ノ資 金化ト云フコトニ付テ、是ハ昨日ノ質問ノ 第一ニ申シテ置イタノデアリマスガ、不動 産ノ資金化ト云フコトデアリマスナラバ、 不動産ノ抵當證券法ト云フモノガ本體デナ ト私ハ思フノデアリマス、サウシマスルト 不動産ノ資金化ノ對象ハ今申上ゲタ所ノ十 四億デナケレバナラヌノデアリマス、然ル ト云フモノハ其範圍モ都市ニ限リテ居ルヤ ウナ狀態デアル、又其運用ガ廣々行カナイ カラシテ、斯ウ云フ風ナ補償ノ方法ヲ立テ ケレバナラヌト私ハ申上ゲタ、然ルニ銀行 局長ガソレニ對シテ、此不動產抵當證券法 ト云フモノハ其範圍モ都市ニ限リテ居ルヤ ウナ狀態デアル、又其運用ガ廣々行カナイ カラシテ、斯ウ云フ風ナ補償ノ方法ヲ立テ ケレバナラナイカラ、改メテ斯ウ云フモ ノヲ立テタノダト斯ウ云フ御答辯ト承リマ シタ、私ハ其點ニ向ッテハ疑問ガアルノデア リマス、若シ區域ガ狹ケレバ是ハ調停ニ依フ テ指定スルコトニナッテ居リマスカラ、全國 ノ区域トシテモ差支ナイ譯デアリマス、 若シ手續ガ煩雜デアリマスルナラバ、ソレ ニ相當訂正ヲ加ヘルコトモ出來ル筈デアル ノデアリマス、ソレハ兎モ角トシテモ此不 動產抵當證券法ガ、其效果ガ甚ダ少ナイカ ラト云フ意味デ今度ノ法案ガ計畫サレタモ ノト致シマスルナラバ、實際今日不動產ニ 固定シテ居ル其總額ヲ目標トシテ見ナケレ バナラヌト云フ理論ニドウシテモ到達スル ト私ハ思フノデアリマス、サウシマスルト 不動產ノ資金化ノ對象ハ今申上ゲタ所ノ十 四億デナケレバナラヌノデアリマス、然ル ト云フコトハドウ云フ所ニアルノデアリマス、 リマセウカ、若シ斯様ニ考へテ來マスルト 云フト、此十四億ヲ總テ貸出スコトガ困難 デアル、或ハ期日ノ點ニ於テ、或ハ補償額 ニソレニ對シテ五億ヲ以テ其目的ガ達セラ レルト云フコトハドウ云フ所ニアルノデア リマセウカ、若シ斯様ニ考へテ來マスルト 云フト、此十四億ヲ總テ貸出スコトガ困難 デアル、或ハ期日ノ點ニ於テ、或ハ補償額 ノ點ニ於テモ之ヲ貸出スコトハ困難デアル ト云フ見方モ一つデアリマセウ、又或ハ今			

日ノ不動產ノ固定シテ居ル所ノ資金ト云フ  
モノハ、非常ニ惡イ質ノモノデアル、隨テ  
左様ナ大キナ不動產ノ肩代リ其他ノ方法ヲ  
シテ、之ニ流通性ヲ與ヘルト云フコトハ實  
際上困難デアル、斯ウ云フ見方モ一ツアル  
ノデアリマス、若シ前ノヤウナ見方デアリ  
マスルナラバ吾々ハ昨日來屢々質問應答ヲ  
重ネテ居リマスル如クニ、其手續ヲ便宜ニ  
シ、或ハ銀行法ト云フヤウナモノニ據ラズ  
シテ、債務者カラ申請セシムルヤウナ方法  
ヲ執ル、若クハ期日ノコトハ後程申上ゲマ  
スガ、期日ヲ便利ニシ、更ニ又補償額ヲ餘  
計ニスルト云フコトニナレバ、モット澤山ノ  
融資ガ出來ルト思フノデアリマス、若シ後  
ノヤウナ意味合ニ於テ非常ナ惡イ質ノ固定  
ガ多イカラ、只今五億圓以上ノ融資ヲスル  
ト云フコトガ、事實上困難デアル、斯ウ云  
フ見解ノ下ニ五億圓ト云フ金額ヲ御定メニ  
ナッタモノデアリマスルナラバ、地方金融界  
ニ非常ナ惡イ影響ヲ及ボスマノト思フノデ  
アリマス、何トナレバサウ云フ意味デアル  
トスレバ、此不動產ノ資金化ト云フモノハ  
普通銀行デス、御承知ノ通リニ地方ノ普通  
銀行ハ、都會地デナク主トシテ農村ヲ相手  
トシテ居ル普通銀行デ、外ニ有利ナ擔保物  
ノナイ爲ニ不動產ヲ取ツテ居ルト云フ實例

デアリマスカラ、即チ農村ヲ主トシテ居ル普通銀行ノ不動産ヲ擔保トスル貸出ノ内、是ハ勿論大體ノ數デアリマスガ、約九億ト云フモノガ極メテ不良ナ貸出デアルト云フコトヲ天下ニ暴露スルヤウナモノデハナカラウカ、サウスルト是ハ地方銀行ト云フモノハ、ドレデモハヤ氣息奄々デ、殆ド事實ニ於テ開店休業銀行ノヤウナモノダト云フコトヲ此法案ノ爲ニ廣ク世ノ中ニ暴露スルヤウナ結果ニ終リハシマイカト云フコトヲ私ハ深憂スルノデアリマス、況ヤ擔保ノ有ル貸付ニ對シテモ左様ナ不良ナ物デアルト云フコトヲ暴露スルニ於テハ、其他ノ對人信用ノ貸出ニ至ツテハ、殆ド一文ノ價值モ無イト云フコトニナリ、實ニ忍ルベキ結果ガ現レテ來ルノデハナイカト思フノデアリマス、斯様ニ思フノデアリマス、是ハ私ノ考デアリマスガ、之ヲ一應御参考ニ申上ゲテ見タイト思フノデアリマスガ、昨日銀行局長モ御話ノアリマシタ如ク、勸業銀行ニ於キマシテハ時價ト見積ツタモノ、三分ノ二ヲ貸出スルコトニナル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、ソレデ、今此對象トナルベキ十四億ノ資金ニ對シテハ、一體其當時ニ於テ見積ツタ時價トシテ、ドレ位不動産ガ擔保トナツテ居ルカト云フト、大體見マスルト云フ

ト、勿論正確デハアリマセヌケレドモ、今  
申上ゲタヤウナ勸業銀行貸出ノ方針カラ見  
レバ是ハ二十一億アル、斯ウ云フ數字ニナ  
ルト思フノデアリマス、ソレヲ丁度半分貸  
出シ得ルモノト致シマスレバ——一寸申シ  
違ヒマシタガ、假ニ二十一億ノ不動産ガ其  
當時ノ評價トシテアツタ、勸業銀行ヲシテ評  
價セシムルナラバ、其當時ノ貸出ノ評價ト  
シテハ二十一億ノモノハアルト見得ル筋合  
ノモノダト思フノデアリマス、ソレガ不動  
産ガ今日ハ非常ナ値下リテ致シテ居リマス  
カラ、極ク大難把ニ詰チスレバ、半額値  
下リテ致シタ云フコトニシマスナラバ、  
今日ハ十億五千萬ノ時價ト見ルコトガ出來  
ルノデアリマス、ソレヲ一杯貸シ得ルト  
云フコトニナリマスレバ、十億五千萬ダ  
ケ貨シ得ルト云フコトデアルノデアリマ  
ス、勿論其中ニ希望シナイ者モアリマセ  
ウ、希望シナイ者モアリマセウケレドモ、  
最初ニ申上ゲタル如ク不動産ノ資金化ト云  
フコトガ目的デアルト致シマスルナラバ、  
成ベクソレヲ希望シテ來ルコトガ政府ノ立  
場トシテハ期待セラレナケレバナラヌノデ  
アリマス、故ニ實際ニ於テハ肩代リ其他ノ  
融資ヲ希望スルモノガ五億圓ニ止マルカ七  
億圓ニ止マルカハ、ソレハ豫測出來マセヌ

ケレドモ、政府ノ立場トシテハ資金化ヲシヨウ、隨テ地方ノ銀行ヲ救ヒ、同時ニ地方ニ金融ノ疏通ヲ與ヘタイト云フ意味デアリマスルナラバ、出來得ルナラバ其全額ヲ融通スルト云フ方針ノ下ニ案ヲ御立テニナルコトガ私ハ順序デハアルマイカト思フノデアリマス、故ニ其端數ハ兎モ角トシテ、私ハドウシテモ實際ニ貸出セバ幾ラデ止マルカト云フコトハ先ツ第二ノ問題ト致シマシテ、其對象トシテハ十億五千萬圓、約十億圓ト云フモノヲ此貸出ノ基準ニスルト云フコトガ順當デハアルマイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、當局ト致サレマシテ此五億圓ト云フコトヲ確定サレマシタ根據ヲ、出來ルダケ一ツ詳シク御説明願ヒタイト思ヒマス

トガ言ヒ得ル銀行ガ相當ニアルデアラウト思フノデゴザイマス、成程此不動産融資ト云フコトハ一ツノ政策デアリマスカラシテ、希望スル者ガアレバ、決シテソレヲ拒絶スルト云フ意味デハアリマセヌケレドモ、此立案ノ目安ト致シマシテ、大體ニ吾吾ノ取りマシタ分ハ、全體ノ此普通銀行ガ、今ノ十一行ノ「シンヂゲート」銀行ヲ除イテモ、他ノモノガ皆來ルト云フ計算ニナッテ居リマセヌカラ、悉クハ參リマセヌト見テ居リマス、ノミナラズ貯蓄銀行ノ方ナドハ、大體ニ於キマシテ營業狀況ガ、ズット預金モ殖エル一方ニナッテ居リマス、普通ニ於テハマア理論カラ言ヘバ成ベクサウ云フ不動産ニハ餘リ澤山ヤッテハイカヌコトデセウケレドモ、貯蓄銀行ナドハ一定ノ制限ノ下ニヤッテ居リマスルコトデ、法律ノ上デ此不動産ニ對スル貸出ノ分量等ノ如キハ限定シテアリマス、デ是モ來レバ決シテ拒ム趣旨デハナイノデアリマス、併シ目安ノ上カラ見マシテ斯ウ云フ種類ノ銀行ハ餘リ不動産ノ方ニ大膽ニヤレナイ組織ニモナッテ居リマス、又實際ニ於テヤッテモ居リマセヌ、法律ノ上ノ制限ガアル銀行モアリマス、ソレカラ法律ノ方ノサウ云フ制限ノ無イモノデ

モ、只今御話ノヤウナ工合ニ、殆ド全部ガ  
サウ云フ風ナ工合ニナルデアラウト云フ御  
推測ニ付テハ、吾々ハ異タル意見ヲ持ッテ  
居ルノデアリマス、ソレカラ又其方面ノ金  
額モ自然減ツテ來ル譯デアリマスガ、更ニ又  
此地方ノ銀行デハ二番トカ三番トカ云フ風  
ナモノニ貸シテ居ル場合モ相當ニアリマ  
ス、是等ハ勸業銀行ノ方デハ出來ナイコト  
ニナツテ居リマス、ヤリタクモ出來ナイト云  
フ場合モ隨分アリマセウト思ツテ居リマス、  
デ今御話ノ十億位ガ宜イヂヤナイカト云フ  
御意見ニ對シマシテ、吾々ノ方ノ推測ハ太  
體ニ於テ四億デ宜イヂヤナイカ、斯ウ云フ  
風ナ計算デ居リマス、此五億ノ金ガ出マス  
ルノハ銀行ヲ對象トシテカラモサウデアリ  
マスシ、又金融疏通ノ、此本法ノ目標トス  
ル上カラ見マシテモ、稍其邊デ以テ目的ヲ  
達シ得ルダラウト云フ風ナ趣旨デ立案サレ  
テ居リマス次第ゴザイマス

ノ詰リ貸出ヲ要シナイモノモアル、ソレハ  
アリマセウ、ソレガドレ位アルト云フ御計  
算デアリマセウカ、或ハ又此貯蓄銀行ノ如キ  
ハ其全部デナクテモ、比較的必要ナカラウト  
云フ意見モアリマス、是モ御尤デアリマス、  
ソレヲドレ位ト一體御覽ニナッタノデアリマ  
セウカ、兎ニ角十四億ノ對象ヲ三分ノ一デ  
宣イト云フノニハ、ソレガ必要ナカラウト見  
ルベキモノガ三分ノ二ト云フコトハ、一寸何  
等カ根據ノアル數字ヲ御示シ願ハナケレバ、  
吾々ニハ納得ガ行カヌノデアリマス、ノミナ  
ラズ私ノ考ヲ以テ致シマスナラバ、ソコガ昨  
日來ドウモ政府當局ノ御考ト、私ノ考ト違  
フヤウニ思ハレルノデスガ、大藏大臣ハ本會  
議ニ於テ、此法案ノ目的ハ詰リ不動產ヲ擔  
保トシテ借リテ居ル人々ヲ結局ニ於テ救フ  
ノデアルカラ、其目的トスル所ハ私ノ見ル  
所ト同一ダトハツキリ御答辯ニナッテ居ルニ  
モ拘ラズ、政府委員其他ノ御答辯ノ趣旨カ  
ラ言フナラバ、ドウシテモ矢張銀行ヲ救濟  
シヨウ、或ハ本當ノ意味ハ斯ウ云フコトデ  
ハナイノデスカ、近來ボツヽ休業銀行ガ  
出來テ參ツテ居ル、斯ウ云フ風ナ方法デ不動  
産ニ對スル融資デモシテヤツタナラバ、サウ  
云フ將來ニ起ルコトアルベキ虞ノアル地方  
ノ金融恐慌ヲ之ニ依ツテ救ハウト云フヤウナ

目的デ、本當ノ目標ハソコニアルノデハナ  
イカト思フヤウナ實ハ感ジヲシマス、ソレ  
ナラバソレデモ宜シイ、サウ云フ目的ナラ  
レバ、吾々ノ考ト目的が違フト申シマシテ居  
モ、ソレハ違フダケデアッテ、是ハ議論ノ相  
違デアリマスカラ別トシテ、其目的ニ副フ  
ヤウニサヘナッテ居レバ、當局ノ御考ハ終始  
一貫シテ居ルト言ヒ得ルノデアリマス、併  
シ今モ御話ノ如クニ、其目的ガ十四億デア  
ルニモ拘ラズ、其三分ノ一位ヲ目標トスル  
ト云フコトデハ、其目的ニモ甚ダ遠ザカル  
ヤウナ結果ニ陥リハシナイカ、斯様ニ實ハ  
惧レルノデアリマス、兎モ角腰ダメデ、マ  
ア此位デ宜カラウト云フノデアリマセウ  
カ、モウ少シ突込ンデ數字的ニ五億ト云フ  
モノガ出タノデアリマセウカ、或ハサウハ  
言ツテモ中々事實督シ切レマイト云フヤウ  
ナコトデハアリマセヌカ、私ハソコヘ行ク  
ト吾々ガ考フルガ如ク、地方銀行ニ不動産  
ヲ提供シテ居ル債務者自身ガ、直チニ銀行  
ノ同意ヲ得ルト云フ條件ノ下ニ、此融資ヲ  
要求スルコトヲ許スナラバ、此ハ普通ノ地  
方銀行ノ利率カラ見マスルナルバ、六分二  
厘ト云フモノハ比較的安イノデアリマスカ  
ラ、サウシテソレガ長期ニ借換ヘラレルト

云フコトデアリマスナラバ、私ハ殆ド總テノ債務者ガ此希望ヲ申出ルデアラウト思フノデアリマス、サウ致シマシタナラバ、一面ニ於テハ非常ニ困ッテ居ル所ノ、昨日モ申上、ゲタ日本ノ中產階級ヲ構成シテ居ル所ノ債務者ヲ救濟スルト同時ニ、眞ニ地方金融界ノ疏通ヲ十分ニ付ケ得ルコトが出來ルノデハアルマイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、然ラバ何レノ點カラ見マシテモ、十四億ヲ目標トスルコトガ出來ナクトモ、實際貸シ得ル額、即チ擔保價額ヲ半額ニ倣下リニナツタモノト見ル所ノ十億五千萬圓ヲ標準トスルコトハ、少クトモ私ハ此場合ニ於テ適當ナコトデハアルマイカト考ヘルノデアリマス、重ネテ御説明ヲ伺ヒタイト存ジマス

テ直接ニ目的トシテ立ッテ居ルナラバ、私共ノ見解ヲ以テ致シマスナラバ、普通銀行ニ二厘ト云フ恩典ニ與ルヤウニナリマス、今日マデ長ク他ノ不動産銀行或ハ他ノ各種ノ機關カラ融通ヲ受ケテ居ル者ガ、其合計額ガ推定デゴザイマスケレドモ、大體六十二億位デアラウト云フ風ナコトモ申シテ居マシタ譯デスガ、此法律ガソコ迄徹底スルナラバ是ハ別問題ナノデゴザイマスガ、併シ吾々ハサウ云フ風ナ方面カラデナク、現在普通銀行若クハ貯蓄銀行ノ範圍内ニ於テ、ソレト不動産銀行トノ結付キニ於テヤラウト云フ風ナコトニ致シマシタ譯デスカラ、一般的ニ債務者ノ方ニ此法規ヲ當嵌メテ行カウト云フ風ナ建前ニハナッテ居リマセヌ

カト云フコトデアリマスレバ、大體五億圓ト云フ程度ヲ以テ見込ンデ居リマス、其五億圓ガ地方ノ金融疏通ニナルデアラウカトテ此五億圓デ金融疏通ノ目的ヲ達シ得ルモノト云フ趣旨デ立案シタ次第デアリマス  
○武田委員 今ノコトデ重ネテ伺ヒマスガ、今局長ハ、詰リ五億位ノ要求シカ來マイ、斯ウ見タト仰シヤル、サウシマスト先程御話ノアリマシタ如クニ、五億圓位ノ要求シカ來ナイト御覽ニナツタノハ、地方銀行デモ有力銀行ハサウ云フ要求ヲスマイシ、貯蓄銀行モ比較的サウ云フ要求ヲスマイト云フヤウナ御考カラ出タノデアリマセウカラ、ソレヲ數字的ニ御示シテ願フコトハ作出マセヌカ、大體ノ御見當ガ、十四億ニ對シテ一億ヤ一億五千萬ナラ腰ダメデモ宜シウゴザイマセウガ、三分ノ一ト云フヤウナ小サナ額ニ目標ヲ御付ケニナルト云フノニハ、大體地方ノ有力銀行ガドノ位アッテ、要求シナイモノガドノ位アル、貯蓄銀行ハ此位シカ要求シマイトカ、何カソコニ稍シ數字的ノ根據ガアリサウニ思ハレルノデアリマスガ、ソレハ如何デセウカ

居リマスカラ 正確ニトハ銀行が幾々請求  
スルト云フ風ナ、サウ云フ意味ニ於テノ確  
實ナル數字デ抑ヘテ居ル譯デハアリマセ  
ヌ、銀行ノ方ニ於キマシテ、是ハ實行シテ  
見マセヌケレバドノ位ノ効キヲ爲スカハ分  
受ケテ居リマセヌ、是カラ取ル順序ニナル  
譯デアリマス、併シ先程モ申ス通り、三分  
ノ一ト云フ仰セノ中ニハ、一番初メニ申シ  
タ通り、二番トカ三番トカ云フ風ナ種類ノ  
モノハ、勸業銀行デハ今ノ法規ニ於テハ取  
扱ヘナイコトニナツテ居リマスカラ、其方面  
カラ制限ヲ受ケルト云フコトヲ考ヘナケレ  
バナリマセヌ、ソレデサウ云フ種類ノ方面  
ト、要求銀行ノ實情カラ勘案致シマシテ、  
稍其邊ノ所ガ穩當デアラウト達觀シタノ  
デアリマス

ヘルカモ分リマセヌカラ、ソレデ此事ヲ細カニ伺ッタガ、今再三繰返シテ御伺シタ所ニ依リマスト、數字的ノ根據ガアルト云フ譯デナク、マアサウ云フコトモアルカラ、大體達觀シテ五億圓位デ宜カラウト思フト云フ漢タル詰リ腰ダメノ達親デアリマスルナラバ、吾々モ他ノ理由デ之ヲ達觀致シマシテ八億ガ相當デアル、或ハ十億ガ相當デアルト云フテモ、要スルニソレハ別ニ根據ノアル、ドチラガ善イカ悪イカト云フ風ニ數字的ニテ決定スルコトモ出來ナイヤウニ思フノデアリマスカラ、ソレデ實ハ伺ッタノデアリマス。

ソレデ尙ホ續イテ伺ヒマスガ、今年度ニ於テ一億圓ヲ融通スルト云フコトヲ御決定ニナッタノハドウ云フ譯デアリマセウカ、是ハ私ハ單ニ御伺スルノミナラズ、如何ニモ變ナ事ダト實ハ思フ、非常匡救ト云フ趣旨カラ此案ガ出テ居ルノデアリマスシ、殊ニ況ヤ銀行ヲ救濟シテ地方ノ此梗塞セル金融ニ疏通ヲ與ヘルト云フノガ主ナル目的デアッテ、債務者個人ヲ助ケルコトハ、結果トシテ現レルノデアルト云フ今重ネテノ仰セデアリマシタガ、左様ノコトデアリマスナラバ、此非常匡救ト致シマシテ、地方ノ金融界ノ極端ニ困ッテ居ル今日ニ於テハ、差當

リ出來ルダケ多ク貸セルコトガ必要ナコトデハアリマスマイカ、外ノ土木事業ノ如クニ工業能力ニ限リアルモノニ於キマシテハ、ヤリタクテモ仕事が出來ナイ、殊ニ東北方面ノ如キハ土木工業ヲヤリタクテモヤリ得ナイ處モアリマセウ、又工業能力ニ制限モアリマセウ、ケレドモ金ヲ貸スト云フヤウナコトハ、成程不動産ノ評價ヲスル爲ニ多少ノ時間ハ掛ルノデアリマスケレドモ、昨日伺フ所ニ依レバ成ベク便宜ノ方法ニ依ッテ、机上鑑定マデシテ貸付ケルト云フ御意見デアルト致シマスレバ、其手續ニ多クノ時間ヲ要スルト思ハレナインデアリマス、故ニドウシテモ此非常對策トシテ本案ニナッタノハドウ云フ譯デアリマセウカ、是シテハ、是ハ本年度一億圓ト云フ意味デハゴザイマセヌノデ、本年度差當リ一億圓トス、故ニドウシテモ此非常對策トシテ本案ヲ御計畫ニナッタ以上ハ、先づ差當リ本年度ニ於テ此大部分ヲ貸付ケルト云フ位ノ御考ニナイヤウニ私ハ思フノデアリマス、ソレデナケレバ、非常匡救ト云フ趣旨ニ一向副ハナイヤウニ私ハ思フノデアリマス、ソレ立テマス上ニ、御承知ノ通り此金ハ預金部ノ方カラ出ル計畫ニナッテ居リマス、預金部ニ於キマシテハ、ソレドヘノ資金計畫ヲ委員會ニ付議スル必要ガアレバ其都度々々々ヤリマスガ、此間ノ委員會ニ於テ差當リ

○大久保政府委員 一億圓ノ根據ニ付キマシテハ、是ハ本年度一億圓ト云フ意味デハゴザイマセヌノデ、本年度差當リ一億圓ト云フコトニナッテ居ルコトニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、御承知ノ通り此金ハ預金部ノ方カラ出ル計畫ニナッテ居リマス、預金部ニ於キマシテハ、ソレドヘノ資金計畫ヲト云フコトナラバ、更ニ又運用委員會ニ付料ノ中ニハ、左様ニ示サレテアルノデアリゴザイマセヌノデ、本年度差當リ一億圓トマスノミナラズ、假ニサウ云フコトデアリフノデアリマス

○武田委員 一億圓ト限定シタノハ、差當リト云フ積リダト仰シャルノデアリマスガ、併シ新聞ニ現レタ御計畫ニヨルト、七一年度一億圓、八年度二億圓、九年度二億圓ノ半額位ハ本年度ニ於テ貸出スト云フ御考デ此案ヲ御實行下サラヌニ於テハ、吾々ハ火事ニ睡見タイナコトニナルノヲ惧レルノデアリマス、兎モ角本年度ニ於テ一億圓ト御決定ニナッタ根據ヲ一應承リタイト思フノデアリマス

○武田委員 一億圓ト限定シタノハ、差當リト云フ積リダト仰シャルノデアリマスガ、併シ新聞ニ現レタ御計畫ニヨルト、七一年度一億圓、八年度二億圓、九年度二億圓ノ半額位ハ本年度ニ於テ貸出スト云フ御考デ此案ヲ御實行下サラヌニ於テハ、吾々ハ火事ニ睡見タイナコトニナルノヲ惧レルノデアリマス、兎モ角本年度ニ於テ一億圓ト御決定ニナッタ根據ヲ一應承リタイト思フノデアリマス

成ベク時局匡救トシテ差當リ多ク之ニ融資  
ヲシタイト云フ考デアリマスナラバ、或ハ  
一億圓シカ融資ガ出來ナイカト思テモ、二  
億圓若クハ二億五千萬圓ト御決定ニナッテ  
モ宜イデハアリマセヌカ、何故ニ殊更假令  
差當リデアッテモ斯様ナ一億圓ト云フコト  
ニシタノデアリマスカ、益々私ハ疑ヲ深クセ  
ザルヲ得ナイノデアリマス、一體本當ノ御  
計畫ハドウナノデアリマスカ

○大久保政府委員 此前ニ二億圓ノ事ヲ決

定致シマシタ時ニモ、差當リ五千萬圓ト云  
フコトデ委員會ハ通ツテ居リマシタ、無論預  
金部ノ方ニモ御承知ノ通り各種資金計畫ガ  
アリマス、其資金計畫ノ上ニ澤山出シテ置  
イテモ差支ガナイ事情デアレバ、又實際ニ  
於テソレガ出ルト云フ確信ヲ以テ頭カラシ  
テ多クノ融通ガ出來マスナラ、是モツノ  
方法デアリマスケレドモ、御承知ノ通りソ  
レハ各種ノ方面ニ資金ノ要求モアルコト  
デアリマスカラシテ、此同ジ種類ノ目標カ  
ラ見マシテモ、他ニ產業組合ノ方モアリマ  
スシ、各方面カラ色々ノ要求モアリマスカ  
ラ、大體此法ノ目的トシテ居ル所ト預金部  
ノ計畫トヲ勘案致シマシテ、ソレハ緩急  
ノ計畫スルト云フコトハ事務的ニ極メテ普通  
ノコトナンダラウト思フノデアリマス、ソ

レデ從前ニ於テモ頭カラシテ直グニ預金部  
ノ計畫表カラニ億圓ヲ取ツテシマフト云フ  
ヤウナコトモ一ツノ方法デアリマセウガ、  
併シ實行上カラ之ヲ考ヘテ見マスト云フ  
ト、一億ト申シマシテモ中々大キナ金デゴ  
ザイマス、是カラ此法律ガ通リマシテ、各  
種ノ手配ヲ致シマシテ、全國ノ勸業銀行、  
十九ノ農工銀行、北海道拓殖銀行、斯ウ云  
フ風ナモノガ、ソレハノ普通銀行、貯蓄銀  
行等ニ關係ヲ致シマス場合ニハ、順序方法  
モアルカト思フノデアリマス、デ頭カラシ  
テサウ云フ風ナ數字ヲ掲ゲルト云フコトヨ  
リモ、寧口實行的ニ考ヘテ行ツタ方ガ宜イ  
デヤナイカ知ラン、斯ウ云フ風ナ意味デ、  
事務上デ極ク堅イ所ニ之ヲ見テ行ツタヤウ  
ナ次第デアリマス、勿論先程カラ申シマス  
通リ、之ヲ敢テ禁ズルト云フ意味デハアリ  
マセヌ、必要ガアレバ預金部ハ手持ノ公債  
ヲソレゾレ處分シテ行クコトハ、大藏大臣  
等カラ御説明ニナツタ通リデアリマス、ソレ  
ゾレノ緩急ニ對シテハ相當ノ心得ハ致シテ  
ク承ツテ見タイト思ヒマス、是ハ勿論法案ガ  
居ル積リデゴザイマス

○武田委員 其點ニ付テノ御質問ハ後ニ保  
留致シマシテ、次ニ利率ノコトニ付テ少シ  
ク承ツテ見タイト思ヒマス、是ハ勿論法案ガ  
トシテハ六分二厘デ貸出スヤウデアリマス  
ト云フト、出來ルダケ多ク融資ヲスルコト  
ハ結構デハアルケレドモ、預金部資金ノ  
リ見マスト、預金部ノ資金ガ間ヘテ居ルカ  
ラ、先ダスウヤッテ置クト云フヤウニモ考ヘ  
ハ四分五厘デ御融通ニナツテ居ルヤウニ承  
コト、シテ、預金部ノ資金關係カ若クハ其  
他ノ事情ガアリマスナラバ、ソレヲ數字的  
ノ、資金ガ斯ウ云フヤウニ間ヘテ居ツテ、一  
億圓ナラ一億圓シカ出セヌト云フ數字的  
ノ御說明ヲ願フコトハ出來ナイノデアリマス  
カ、何カサウ云フコトハ御調べニナツテ居ル  
ヤニ承ツテ居ルノデアリマスガ、ザクバラ  
ンニ承リサヘスレバ吾々ハ餘計ナ質問ヲシ  
ナクテ済ムノデアリマス

○大久保政府委員 只今仰セノ、預金部ノ  
ソレハノ決定致シマシタル數字ニ付キマシ  
テハ、預金部ト能ク相談致シマシテ、成ベ  
ク正確ナ最近ノ數字ヲ御手許ニ差上ゲルコ  
トニ致シマス

○武田委員 其點ニ付テノ御質問ハ後ニ保  
留致シマシテ、次ニ利率ノコトニ付テ少シ  
ク承ツテ見タイト思ヒマス、是ハ勿論法案ガ  
トシテハ六分二厘デ貸出スヤウデアリマス  
ト云フト、出來ルダケ多ク融資ヲスルコト  
ハ結構デハアルケレドモ、預金部資金ノ  
リ見マスト、預金部ノ資金ガ間ヘテ居ルカ  
ラ、先ダスウヤッテ置クト云フヤウニモ考ヘ  
ハ四分五厘デ御融通ニナツテ居ルヤウニ承  
コト、シテ、預金部ノ資金關係カ若クハ其  
他ノ事情ガアリマスナラバ、ソレヲ數字的  
ノ、資金ガ斯ウ云フヤウニ間ヘテ居ツテ、一  
億圓ナラ一億圓シカ出セヌト云フ數字的  
ノ御說明ヲ願フコトハ出來ナイノデアリマス  
カ、何カサウ云フコトハ御調べニナツテ居ル  
ヤニ承ツテ居ルノデアリマスガ、ザクバラ  
ンニ承リサヘスレバ吾々ハ餘計ナ質問ヲシ  
ナクテ済ムノデアリマス

○大久保政府委員 只今仰セノ、預金部ノ  
ソレハノ決定致シマシタル數字ニ付キマシ  
テハ、預金部ト能ク相談致シマシテ、成ベ  
ク正確ナ最近ノ數字ヲ御手許ニ差上ゲルコ  
トニ致シマス

○武田委員 其點ニ付テノ御質問ハ後ニ保  
留致シマシテ、次ニ利率ノコトニ付テ少シ  
ク承ツテ見タイト思ヒマス、是ハ勿論法案ガ  
トシテハ六分二厘デ貸出スヤウデアリマス  
ト云フト、出來ルダケ多ク融資ヲスルコト  
ハ結構デハアルケレドモ、預金部資金ノ  
リ見マスト、預金部ノ資金ガ間ヘテ居ルカ  
ラ、先ダスウヤッテ置クト云フヤウニモ考ヘ  
ハ四分五厘デ御融通ニナツテ居ルヤウニ承  
コト、シテ、預金部ノ資金關係カ若クハ其  
他ノ事情ガアリマスナラバ、ソレヲ數字的  
ノ、資金ガ斯ウ云フヤウニ間ヘテ居ツテ、一  
億圓ナラ一億圓シカ出セヌト云フ數字的  
ノ御說明ヲ願フコトハ出來ナイノデアリマス  
カ、何カサウ云フコトハ御調べニナツテ居ル  
ヤニ承ツテ居ルノデアリマスガ、ザクバラ  
ンニ承リサヘスレバ吾々ハ餘計ナ質問ヲシ  
ナクテ済ムノデアリマス

五分、高イ所デハ五分五厘デ、先ヅ五分二三  
厘ト見ルノガ相當デアラウト思フ、ソレガ  
假ニ五厘預金利率ヲ下ゲルト致シマスレバ  
四分七八厘ニナル、四分七八厘ノ預金利率  
ヲ持ツテ居ル所ノ銀行ガ六分二厘デ借りタ  
コトニナリマスト、到底私ハ營業ハ出來ナ  
イト思フ、又營業ハ假ニ出來ルト致シマシ  
テモ彼等ノ利益ハ從來ヨリモ非常ニ少ク  
ナツテ參ルノデアリマス、從來地方銀行ノ利  
鞘ノ利益ト云フモノハ私ノ色々承ッタ所ニ  
依リマスト、四分ニ致シマシテ少イ所デ九  
厘、或ハ多イ所デハ一分二三厘位ノ利鞘ヲ  
以テ營業シテ居ルノデアリマス、然ルニ今  
度ハソレガアベコベニ自分ノ銀行ノ預金即  
チ資金ノ「コスト」ヨリ高イモノヲ借ルト云  
フコトニナリマスト、非常ニ利益ガ取レナ  
イ、又利鞘ガアツテモ、ソレハ極メテ少イモ  
ノニナルヤウニ思ハレマス、左様ナコトニ  
致シマスナラバ今ニモ取付ニ遭フト云フヤ  
ウナ已ムヲ得ナイ銀行ハ率知ラズ、稍健實  
ナ銀行ハ此資金ノ要求ヲ致サヌコトニ、此  
利率ノ點カラ見テ行クノデハアルマイカ、  
今銀行局長ノ御話ノヤウニ主トシテ地方銀  
行ニ援助ヲ與ヘテ金融ヲ滑カニスル、サウ  
シテ萬一ノ起ルコトノナイ、或ル地方ノ金  
融恐慌ト云フヤウナ不祥事ヲ救ハンガ爲ノ

一時ノ手段ヲ講ジテ、地方銀行ハ稍々不健全ナル地方銀行デモ此資金ヲ利用シ得ル程度ノ條件ニシナケレバ、此目的ガ達セラレナモ、安クチモ八分、普通ハ一割ノ利子ヲ拂ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレガ六分二厘デ肩代リヲシテ貰ヘテ、而カモ長期ニナルト云フコトデアレバ、喜ンデ居ルノデハナイデセウカ、サウスレバ五分六厘デモ差支アリマセヌケレドモ、銀行ヲ主トシテ貸付ケルコトデアレバ、銀行自身ノ手許ニ持ッテ居ル「コスト」ヨリ高イコトニシテ御貸付ニナルト云フコトデハ、其目的ハ達セラレナイコトニナリハシナイカ、斯様ニ思ヒマスガ、其點ハドウ云ノコトデ六分二厘ニ爲サタノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス

居リマシタ、デ只今御話ノ六分二厘ニ付テ  
モ御説明ガアツタ通リデアリマスカラ、八分  
ト云フコトハ一層此運用ノ上ニ妨ゲニナル  
コトハ、昨日モ申上ゲタト記憶シテ居リマ  
ス、預金部ノ方ノ金繰リノ方カラ行キマス  
ト、御話ノヤウニ實際五分六厘ノ利率モア  
リマスシ、又十年以降ヲ考ヘレバ、其方ノ  
意味カラ申シマスト兎モ角可能性ガ可ナリ  
アリマス、併ナガラスウ云フ風ナ工合ニ各  
方面ニ預金部ノ資金ガ出ルコトニナリマス  
レバ、殊ニ本案ノヤウナ工合ニ大體ニ於テ  
五億ト云フ巨額ヲ見込ミマス場合ニ於テ、  
預金部ノ現在ヤツテ居リマス所ノ公債利廻  
ト云フコトヲ離レテハ、預金部自身モ亦  
計算ガ立チニクイノデアリマス、此方面ノ  
財源ニ付テハ大體其公債利廻ヲ標準ニシテ  
五分六厘ト云フ現狀ヲ抑ヘテヤツテ居リマ  
ス、郵便貯金利子ガ下ッタカラト云ツテ直チ  
ニ之ニ影響スルト云フ意味デハアリマセ  
ヌ、或ル期間ノ後ニ全體的ニ考ヘテ下ルト  
云フ機會ハ絶無トハ申シマセヌガ、其方面  
カラ相當ノ歩合ヲ見込ンデ居ル譯ニアリマ  
ス、其關係カラシテ六分二厘ニ決マリマシ  
タ結果、是ガ地方ニ於テドウ云フ關係ニナ  
ルダラウカト云フコトモ考慮シテ見マシ  
タ、只今武田サンノ御話ノ預金ノ「コスト」

ニ付キマシテハ、東京、大阪、名古屋等ニ  
於ケル乙種ノ協定ヲ大體標準ニシテ御覽ニ  
ナリマシテノ利率カト私ハ拜察致シマス、  
地方ノ全體ノ利率ニ付テハ私等ハ斯ウ云フ  
風ナモノヨリモモット高イモノト承知シテ  
居リマス、是ハ地方ニ依リマシテ非常ニ區  
區ニナツテ居リマスカラ、一概ニ悉クサウデ  
アルト云フコトハ申シ兼ネマスガ、只今御  
舉ゲニナリマシタ東京、大阪、名古屋ノ乙  
種ノ協定ノ利率ヨリモ、地方ハ遙ニ高クナッ  
テ居ルト云フコトハ實際ノ事柄ダト思ヒマ  
ス、現ニ不動產ノ貸出ノ利率ハドウナツテ居  
ルカト斯ウ見マスト、勸業銀行等相當不動  
產ニ付テ低利ニヤツテ居リマス方面ガアル  
ニ拘ラズ、其不動產ニ對スル平均ノ利廻ト  
云フノハ、大體ニ於テ全國中々高イノデア  
リマス、其數字ハ昭和六年ニ於テハ一割一  
分二五、昭和五年ニ於テハ一割一分三五、四  
年ニ於テモ一割一分三五、三年ニ於テハ一  
割一分七三ト云フ風ナ割合ニ、相當地方ノ  
不動產金利ト云フモノハ平均シテ見マシテ  
モ此程度ノモノニアリマス、利息ハ成ベク  
安イ程ガ宜シイト云フコトハ申上ゲル迄モ  
ナイコトニアリマスケレドモ、サレバト言  
ヒマシテ今ノ地方ノ金融ノ實情カラ、其金  
利ヲ一氣呵成ニ下ゲルト云フ迄ノ必要モナ

カラウカト思フノデアリマス、預金ノ「コスト」ノ上カラ見マシテモ先程申シタ通りデアリマス、實際ニ不動產資金ニ對シテ行ハレテ居ル金利カラ申シマシテモ、今申シマスヤウナ次第アリマスカラ、六分見當ノ金ヲ以テ地方金融ノ疏通ニ資スルコトハ相當ニ效力ガアルヤウニ想ヒマス、現ニ又地方金融ノ人達カラ聞キマシテモ、八分デハ困ルケレドモ、六分見當ナラバ丁度宜シカラウト云フコトモ、實際上聞イテ居リマス次第アリマスカラ、其點ニ付キマシテ此邊ヲ標準ニシテヤッテ宜カラウ、斯ウ見タ次第デアリマス

○武田委員 私モ實ハ政府ニ於カレマシテハ資金ガ潤渴シテ居ルカラ、預金部ノ手持公債ヲ日本銀行ニ買取ラシメテ資金ヲ作ルト云フ方針デアッテ、其利廻ハ約五分六厘ニ當ル、ソレヲ標準ニシテ中間銀行ニ六分ノ手數ヲヤルカラ六分二厘ト云フ數字が出タト云フコトハ大體承テ居ルノデアリマス、今御説明ヲ承ルト從來吾々ガ承ツテ居ル通りデアリマスカラ、一應御尤ノヤウニハ聞エマスガ、實ハ私ハ之ニ付テ尙ホ疑ガアル、政府ハ今日低利政策ヲ——舊ニ低金利ノミナラズ超低金利政策ヲ御採リニナラウト云

フノデアリマシテ、私共ハ頗ル此點ニ向ツテ贊成ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ超低金利政策ナルモノハ中央金融界デ——從來低金利政策ト言ハレテモ多クハ中央ダケニノ金ヲ以テ地方金融ノ疏通ニ資スルコトハ相當ニ效力ガアルヤウニ想ヒマス、現ニ又恩典ガ及バナカッタノデアリマス、私共ガ低金利政策ヲ主張スル所以ハ、ソレニ依ツテ直チニ産業ノ發達ニ資スルト云フコトハ勿論アリマスケレドモ、今日ノ如キ甚ダシキ不況ノ場合ニ於テハ金利ヲ安クシタカラト云ツテ、直チニ産業ガ發達スルトハ實ハ思ハ目下ノ所先程申シマシタ事情ノ下ニ大體ス次第アリマスカラ、其點ニ付キマシテハ好イ機會デアルノデアリマスカラ、此手段ヲ以テ地方ノ金融界ニ低金利政策ヲ惹起ハ好イ機會デアルノデアリマスカラ、此手段ヲ以テ地方ノ金融界ニ低金利政策ヲ惹起ノイノデアリマス、多少ノ助ケニハナリマセウガ、直チニ新シイ産業ヲ發達セシムルト云フヤフナ意味合ニ於テノ低金利政策ノ效力ト云フモノハ極メテ少イヤウニ思フ、私ハ低金利政策ヲ特ニ高調シタイト思フケレドモ、政府ノ意見ニ贊成スル所以ノモノハ、低金利政策ニ依ツテ産業ノ振興ヲ促スト云フヨリモ、寧ロ重點ヲ所得ノ公平ナモノハ、低金利政策ニ依ツテ産業ノ振興ヲ促ス、大凡今日ノ預金部ニ剩ツタ所ノ金ヲ融通ノ分配ト云フコトニ置キタイト思フノデアリマス、所得ノ分配ト云フ意味ニ於テハ種々ナル方面モアリマセウ、即チ租稅政策ニルコトモ重大ナル效果ガ現ルト私ハ思フ

ノデアリマス、左様ナ物事ニ取ツテハ私ハ相依ル手段モアリマセウシ、又金利政策ニ依スル御計畫ノヤウニ承ツテ居ル、少クトモ此ニナツテ然ルベキ道理ニ相成ルト思フノデアリマス、又假ニ公債ヲ日本銀行ニ背負ヒ込マシタト云フコトヲ假定致シマシテモ、一方ニ於テハ公債ノ値上リガ將來確實ニ見込ミ得ルト云郵便貯金ガ段々殖エテ來ル、一方ニ於テハ公債ノ値上リガ將來確實ニ見込ミ得ルト云フ場合ニ、現在ニ於テノ公債ノ値上リヲ根據トシテ此利殖ヲ定メルト云フコトハ、私ハ適當ノ處置デハナイノデハナイカト思フ、今御話ノ如クニ或ハ地方ノ不動產金融

ノ利率ハ安クテ八分若クハ一割ダ、ソレハ私モ認メマス、ソレハ私が先程申シタ通りシテ無理ナコトヲヤッテ居ルノデアリマス、サウ云フコトデハ詰リ地方ノ農家ハ行キ立タヌノデアリマス、中產階級ヲ組織シテ居ル所ノ、即チ不動産ヲ擔保トシテ借受ケテ居ルヤウナ農家ハ、事實ハサウ云フ高イ利子デアリマスカラ、其自己ノ財產カラ產ム所ノ所得若クハ自己ガ働イテ得ル所ノ所得ダケデハ、借金ノ元本ハ勿論ノコト、其利子サヘモ支拂ガ出來ヌカラコソ斯ウ云フヤウニナツテ、政府ノ援助ヲ仰ガナケレバナラヌト云フ事態ヲ惹起シタ、故ニ現在ノ利率ガドウアラウト差支ナイト今日ノ時局匡救ノ場合ニ仰シヤルコトハ如何デアラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、左様ナ意味合ニ底スル意味ニ於キマシテモ、亦資金ノ「コスト」ノ上ヨリ行キマシテモ、モウ少シク利率ヲ低下スルト云フコトハ爲シ得ルコトデアリ、又爲シタ方ガ宜イコトデアリ、而モサウ云フ條件ガ少シク緩和スレバサレル程此貸付ノ金額ガ多ク地方へ廻ルト云フコトニナリマスカラ、何レノ點カラ見テモ此

ノ利率ハ安クテ八分若クハ一割ダ、ソレハ私モ認メマス、併ナガラ是ハ實ニ白ムヲ得ズ

○大久保政府委員 金利ノ全體ニ付テノ御所見ハ私ハ頗ル同感デゴザイマス、此問題ガ第一條ニモ書イテアリマス通り、大藏大臣ノ定ムル所ニ依ツテ決メル範圍ダラウト思ヒマシテ、別段預金部ノ金、其金利ト云

フヤウナコトニ付テハ大體ノ計畫ヲ申上ゲマスノデアリマスカラ、是ハ今御話ノヤウナ工合ニ段々ニ金融ノ關係ガ良クナッテ來ルナラバ、大藏大臣ハ事情ニ即シタル判断ヲ致スコトハ、此法規ノ上デモ無論出來ルデセウシ、大藏大臣モ今回本會議ノ席上デシタカニ仰シヤッタ通り、適當ノ御考ヲ適當ノ時機ニ於テ爲サレルコトダラウト思フノデアリマス、唯此法律立法當時ノ計算ノ實情ヲ申上ゲマス次第デアリマス

地方ノ低金利ニ付キマシテモ、今日平均ガ一割一分餘ニナツテ居リマス實情カラ見マシテモ、普通銀行ガ之ヲ金融疏通ニ用ヒト云フト、五分ノ開キガ現狀カラ見テモアリマス、恐らく先程カラ仰シヤッタ通りニ進ンデ行クヤウニ致シタイモノト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○武田委員 此利率ノ點ニ付キマシテハ當局ノ御意見ヲ承ツテ、是レ以上ハ多少議論ニ互ルコトニナルカモ知レマセヌカラ、是ハ此程度ニシテ置キマスガ、私が今御質問申方ノ鞘ト云フモノハ事實上サウ取テ居リマセヌ、デ二分位ガ一番多イ方デアラウト思フコトヲ、何等カノ方法ヲ以テ一般ニ知ラセルヤウナ手段ヲ執ツテ願ヒタイ、同時ニ出テ貸出ス計畫ノ下ニ貸出ヲヤルノデハナイ、出來ルダケ餘計貸出ス方針デアルト云

此方法ニ依ツテ普通銀行等ガ働キマスト、現狀ノ通リノ利率デハ無論ナイト思ヒマス、相當程度ニ於テ働方ニ依リマシテハ下得ル、其見當ヲ大體申上ゲテ居ル趣旨デゴザイマス

今後ノ働方ニ付テハ無論又今後ノ實情ヲ見タ上ニ、何モサウ特ニ預金部ガ此問題ニ付テ非常ニ儲ケナケレバナラメト云フ建前デハナイノデアリマス、大體計算ガ採レ、バソレニ依ツテ働イテ行キマスシ、中間銀行ノ手數料モ此様ナ工合ニ極ク穩當ナ妥當ナ所デ決メテ居リマスカラ、此問題ハ立案當時ノ計畫トシテハ是デ以テ相當働ケルデアラウ、今後ノ低金利政策ニ對スル全體ノ趣旨ニ付キマシテハ、御考ノ所モ能ク吾々諒承致シマシタ、成ベクサウ云フヤウナコトニ進ンデ行クヤウニ致シタイモノト考ヘテ是ハ預金部ニ掛ケテ決定シタノデアリマスカラ、更ニ適當ナ機會ニ預金部ノ方ヘ差當ハ適當ナ手段ヲ執ツテ、差當リ一億圓ヲ限ツハ適當ナ手段ヲ執ツテ、差當リ一億圓ヲ限ツテ貸出ス計畫ノ下ニ貸出ヲヤルノデハナイ、出來ルダケ餘計貸出ス方針デアルト云

九 第六類第一號 不動產融資及損失補償法案(政府提出)委員會議錄 第三回 昭和七年八月二十九日

ソレカラ次ニ私ハ此機會ニ地方ノ農村金

融ヲ如何ニスルカ、又不動産ノ資金化ヲ如

何ニスルカト云フ、此根本的ノ問題ニ付テ

政府當局ノ御意見ヲ只今承リタイト思フノ

デアリマス、併シソレハ本案ニ直接關係ナ

イコトデアリマスカラ、他ノ同志諸君ノ質

問ヲ妨害スルヤウナコトニナリマスカラ、

私ハソレ等ノ點ニ付テノ質問ハ保留致シマ

シテ、最後ニ時間ガアリマシタナラバ、斯

ウ云フ不動産ノ資金化並ニ農村金融ノ更生

ト云フヤウナ事柄ニ付キマシテ質問シテ、

政府ノ御所見ヲ伺フ機會ヲ得マシタナラバ

與ヘテ戴キタイト云フコトヲ、委員長ニ御

願申シテ置キマス

モウ一つ私ハ簡単ナコトデスガ、ソレデ

兎モ角モ私ノ質問ハ終ルコトニ致シタイノ

デアリマスルガ、是ハ本會議デモ一寸伺ッテ

置イタノデアリマスガ、此融資ノ中ニ銀行

其他ノ信託會社ヲ加ヘテ戴イタラバドウカ

ト云フ御質問ヲ致シマシタガ、之ニ對シテ

大藏大臣ハ信託會社ト云フモノト銀行トハ

性質、機構ヲ異ニシテ居ルカラ其中ニ加ヘ

ルコトハ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ御話ガ

アリマシタ、是ハ尤ナ話デアリマス、是ハ

机上ノ論ト致シマシテハ、私其其位ノコト

ハ實ハ承知致シテ居ルノデアリマス、併シ

今日日本ノ信託會社ノ實情カラ見マスト云  
フト、此戴イタ參考書ニアリマスル如ク、  
一億七千萬圓カラノ不動產ニ對スル新タノ  
投資ガアルノデアリマス、勿論此大キナル  
信託會社ノ金融ニ於ケル不動產ハ、東京大  
阪ノヤウナ宅地竝ニ商家ガ主ナルモノデア  
リマスルカラ、此大キナル信託會社ニ於テ  
ハ勿論其必要ハアリマセヌ、併ナガラ地方  
ノ信託會社ト云フモノハ、約三十ノ信託會  
社ガアルト私ハ存シテ居リマスガ、是等ハ  
殆ド事實ニ於テ普通銀行ト同ジヤウニ此不  
動產ヲ擔保トシテノ貸出ヲシテ居ル、故ニ  
同ジク其債務者ヲ救濟スルト云フ意味カラ  
云々テモ、地方ノ或種ノ金融機關ノ實ヲ舉ゲ  
テ居ル信託會社ノ今日ノ窮状ハ、普通銀行  
ト餘り變ラナイ立場ニナッテ居ル信託會社  
モ少クナインデアリマス、故ニ是等ヲ救フ  
ト云フコトハ、所謂地方ノ金融ヲ救フ一ツ  
ノ途デアルト考ヘルノデアリマス、實情カ  
ラ申シマスレバ、少クトモ不動產金融ノ限  
リニ於キマシテハ、餘リ其違ハナイノデア  
リマス、唯違フト云フノハ此預金ニ付キマ  
シテ、据置預金ト云フモノハ普通銀行ノ當  
座預金ノ如ク何時デモ取付ケラレルト云フ  
モノデナイト云フコト、是デアリマス、併  
シ是ハ昨日來本會ニ於テモ大臣ノ御答辯、

又昨日來銀行局長ノ御答辯ニモ、此度ノハ  
昭和二年度ノト達テ、銀行ノ預金者ヲ救フ  
爲メノ計畫デナイト云フコトヲ屢々仰シャ  
タノデアリマスルカラ、預金ガ取付ケラレ  
ルカ取付ケラレスカト云フヤウナコトデ、  
信託會社ノ不動產ノ擔保貸出ト普通銀行ノ  
信託會社ノ金融ニ於ケル不動產ハ、東京大  
阪ノヤウナ宅地竝ニ商家ガ主ナルモノデア  
リマスルカラ、此大キナル信託會社ニ於テ  
ハ勿論其必要ハアリマセヌ、併ナガラ地方  
ノ信託會社ト云フモノハ、約三十ノ信託會  
社ガアルト私ハ存シテ居リマスガ、是等ハ  
殆ド事實ニ於テ普通銀行ト同ジヤウニ此不  
動產ヲ擔保トシテノ貸出ヲシテ居ル、故ニ  
同ジク其債務者ヲ救濟スルト云フ意味カラ  
云々テモ、地方ノ或種ノ金融機關ノ實ヲ舉ゲ  
テ居ル信託會社ノ今日ノ窮状ハ、普通銀行  
ト餘り變ラナイ立場ニナッテ居ル信託會社  
モ少クナインデアリマス、故ニ是等ヲ救フ  
ト云フコトハ、所謂地方ノ金融ヲ救フ一ツ  
ノ途デアルト考ヘルノデアリマス、實情カ  
ラ申シマスレバ、少クトモ不動產金融ノ限  
リニ於キマシテハ、餘リ其違ハナイノデア  
リマス、唯違フト云フノハ此預金ニ付キマ  
シテ、据置預金ト云フモノハ普通銀行ノ當  
座預金ノ如ク何時デモ取付ケラレルト云フ  
モノデナイト云フコト、是デアリマス、併  
シ是ハ昨日來本會ニ於テモ大臣ノ御答辯、

リマスガ、此點ハ如何デスカ  
○大久保政府委員 信託會社ヲ入レマスコ  
トニ付テハ大臣カラ御答辯ニナッテ居リマ  
スガ、成程仰セノ通り信託會社モ相當不動  
產融資ヲ致シテ居リマス、御舉グニナリマ  
シタ数字ハ昭和六年ノ下半期ノ計數ダト思  
ヒマスガ、昭和七年ノ上半期ハ一億五千萬  
圓位ニ減テ來テ居リマス、ソレカラ又東  
京、大阪、名古屋ノ信託會社ヲ引キマスト、  
其他ノ地方ニ於ケル信託會社ノ數ハ十九位  
ニナッテ居リマス、是等ノ信託會社ニ付テモ  
ミデアリマセヌ、保險會社モアリ、無盡會  
社モアリ、其他個人モアリマス、此金融機  
關ト云フ立場カラ見マスト、今日ノ信託會  
社ノ地方ニ於ケル實際ハ、稍、普通銀行ト似  
タモノノヤウニ、私ノ承知シテ居ル限りニ  
於テハ思ヒマスシ、又實際ニ於テ信託會社  
ハ隨分窮境ニ陥テ居ルノモ、少クナインデ  
アリマス、左様ナ意味合ニ於テ——成程單  
純ニ學理的ニ論ズルト、銀行ト信託會社ハ  
其機構ニ於テ非常ナ違ガアルコトハ、先程  
申上げマス通リニ私不肖ト雖モ承知シ  
テ居リマス、併シ實際上ノ地方ノ現況ヲ救  
濟スルト云フ意味カラシテ、信託會社ヲ加  
ヘテモ、法制ノ上ニ於テモ亦實際ノ上ニ於  
テモ何等差支ナイヤウニ考ヘラレルノデア  
ルト云フ實情ハアルノデス、其外今仰シヤ

イマシタ通リデ、申上ゲルマデモナイコト  
ト思ヒマスガ、保険會社ニシテモ無盡會社  
ニ致シマシテモ、別段是ハ地方金融ノ疏通  
ト云フ意味デヤナク、自分等ノ業務ノ一ツ  
シテ居リマス、本案ノ目的ハサウ云フ風ナ  
方面ヲ開放スルト云フ意味デナク、地方ノ  
金融疏通ト云フコトヲ主タル題目ニ致シテ  
居リマスカラ、信託會社ノ業務ノ性質カラ  
見マシテモ、尙又數字等ニ於テモ今申上ゲ  
マシタ通り、又實情ニ於テモ此適用ヲシナ  
イカラト云テ非常ニ困ルト云フ實情デモ  
アリマセヌ、ドレモ是レモヤルト云フコト  
モ非常ニ困難ナ現狀デアリマスカラ、先ヅ  
有效ナ方面ニ限ッタ次第デゴザイマス、此點  
ハ或ハ多少意見ノ相違ニナルカモ知レマセ  
ヌケレドモ、吾々ハサウ云フ風ナ意味デ立  
案ヲ致シタ次第アリマス

○青木委員 本案ハ申上ゲルマデモナク、  
ノ質問ニ付テモウ少シ機會ヲ與ヘテ貴ヒタ  
イト思ヒマスガ、一先づ私ノ質問ハ打切り  
マシテ、殘餘ノ質問ハ保留サセテ戴キタイ  
ト思ヒマス

○青木委員 本案ハ申上ゲルマデモナク、  
ノ質問ニ付テモウ少シ機會ヲ與ヘテ貴ヒタ  
イト思ヒマスガ、一先づ私ノ質問ハ打切り  
マシテ、殘餘ノ質問ハ保留サセテ戴キタイ  
ト思ヒマス

○中島委員 昨日ノ續モアリマスガ、武田  
君カラ義ニ質問サレマシタ點ニ付キマシ  
テ、私共マダ了解ニ苦シム點ガアリマス、  
議ヲ致シマスコトニ私共ハ異議ハナイノデ

アリマスガ、質疑者ハ殆ド全員ヨリ御通告  
ニナッテ居リマスガ、武田君一名ガ漸クソレ  
モ留保サレタト云フコトデ相済ンダノデ  
アッテ、今後ノ質問者ノ方デハ出來得ルダケ  
セラレマシテモ、御深切ハ結構デアリマス  
要領ノ質疑ヲ御願シ、又政府委員ニ於カ  
ケレドモ、簡潔ニ御答辯ヲ願ヒマシテ、出來  
ルダケ質疑者全部ノ質疑ヲ了ヘテ、此案ヲ  
慎重審議スルコトガ適當デアルト思ヒマス  
カラ、委員長ヲ通ジマシテ希望ヲ述べテ置  
キマス

○金光委員長 青木君ノ御發議ハ御尤ナコ  
ト、存ジマスカラ、ドウズ皆様モ其御積リ  
デ……

○風見委員 一寸議事進行ニ關シテ——將  
來ノ議事進行ノ爲ニ此際大藏當局ニ材料ノ  
提供ヲ御願スルコトヲ許シテ戴キマス、其  
一つハ農村ニ於ケル此法ノ適用サルベキ土  
地抵當額ハ割合ガドノ位ニナッテ居ルカ、私  
共ハ約六割強ト思ヒマスガ、ソレデアナタ  
方ガ其通リダト云フナラ直グ御答辯ヲ願ヒ  
タイ、ソレカラ農村ニ如何ナル階級ノ者ガ  
多イカト云フ調査デアリマス、詰リ地主或  
スガ、所ガ武田君モ一寸觸レマシタガ、數  
字的ニ見テ居リマセヌカラ私カラ質問シタ  
シテ居リマス不動產ノ價格ハ推測ニ瓦ツテ  
云フ推測ノ數字ハゴザイマスガ、吾々ノ方  
モ確實ニ其推測ヲ裏書スル材料ハ持ッテ居  
リマセヌ、第二ノ統計表ハ持ッテ居リマセヌ  
○風見委員 第二ノ計算ガナイノデスカ  
○風見委員 好イ加減ニ唯一般ノ農村ト云  
フコトヲ目標ニシテヤッタノデスカ

○大久保政府委員 第一ノ總貸出ノ債權額  
ハ表ニ差上ゲテゴザイマスガ、其根柢ヲ成  
スガ、所ガ武田君モ一寸觸レマシタガ、數  
字的ニ見テ居リマセヌカラ私カラ質問シタ  
シテ居リマス不動產ノ價格ハ推測ニ瓦ツテ  
居ル書類ハゴザイマス、五割トカ六割トカ  
シテ居リマス不動產ノ價格ハ推測ニ瓦ツテ  
居ル書類ハゴザイマス、五割トカ六割トカ  
居リマス、ソレカラ今度ノ新規融通見込額  
ノ見込ガ一億九千四百二十六萬圓ニナッテ  
居リマス、ソレカラ今度ノ新規融通見込額  
ガ一億八千九百萬圓ニナッテ居リマシテ、殘  
額ハ僅ニ五百萬圓シカアリマセヌ、所ガ今  
度ノ新規要求ノ中デ不動產資金ノ爲ニ一億  
圓ト云フモノガ運用サレルコトニナッテ居  
リマス、サウシマスト此一億圓ト云フ限り  
ニ於キマシテハ、公債ノ所謂利廻ノ五分六  
厘ト云フモノヲ見ズニ、四分二厘デ預ッテ來  
タ郵便貯金ヲ財源トシタ利息デ行クノダカラ  
ラ、此點ハ相當引下グラレルト思フノデス、  
是ハ武田君モ少シ之ニ觸レラレマシタガ、  
其點ノ御説明ヲ一つ御願シタイト思ヒマ  
ス

○大久保政府委員 預金部ノ餘裕ヲ悉ク郵  
便貯金ニ引當テ、シマヒマスト、預金部自  
身トシテハ殆ド何モ餘裕ハナイコトニナリ  
マス、御承知ノ通り此頃ノ預金部ノ餘裕ハ  
極ク全部低資ニ行ッテ居リマスカラ、其中ノ

或ルモノハ公債ニ振向ケラルベキモノデ

アッテ、ソレガ初メテ預金部ノ會計ト云フモ

ノハ成立ツテ居リマス、此方面ニ向ケマスレ

バ、公債ニ向ケベカリシモノガ御承知ノ通

リコッチニ向クコトニナルノデアリマス

○中島委員 併シ此一億圓ヲ使ツテシマッテ

後ニ、詰リ根本カラ申シマスト、新規見込

額トシテ最近ノ預金部ノ委員會ニ於テ決定

サレマシタ一億八千九百萬圓ヲ使ツテシマッ

テ、後ニ郵便貯金ガ殖エナケレバ預金部ノ

餘力ハ出テ來ナイト假定致シマス、サウス

ル時ニ初メテ預金部ノ持ツ公債ノ十一億何

ボノ中デ資金化シ得ルモノガ九億何ボト

ナッテ居リマスガ、ソレヲ日本銀行ニ持タセ

テ、ソレカラ金ヲ取ツテ後ノ四億ヲ貸スコ

トニナッテ來マセウ、サウスレバ公債ノ利廻

カラ關係シテ來タ預金部ノ儲ケルカ儲ケヌ

カ、損スルカ損シナイカト云フ點カラ割出

シテ來ル問題ハ、此一億ガ使ハレテシマッテ

カラ後ニ起ツテ來ルノデハナイデセウカ

○大久保政府委員 今日マデノ資金計畫ノ

上カラソレハ公債ニ振向ケベカリシ計畫ガ立ツテ居タノデアリマス、今度ハソレヲコツチニ全部取ルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス

○中島委員 サウシマスト此一億四千萬ノ

金ヲ、公債ニ預金部ガ引受ケルコトニナッテ

ソレカラ貸ス計畫ヲシテヤッタ色々々ナモノ

マスカ——併シサウトシテモ何故ニ是ハソ

レダケノ餘裕ガ出來ルカト云ヘバ、他ノ色

色ナモノニ貸出サナカッタモノガ、中小商工

業者、農村資金ニ貸出サナカッタモノガ、集

リ集ツテ一億九千四百萬圓ニナリマスノデ

スカ、是ハ預金部ノ事ニナッテ來マスケレド

モ……

○大久保政府委員 御尋ノ趣旨ガ一寸分リ

マセヌノデスガ……

○中島委員 一億九千四百萬圓ト云フモノ

ヲ、今アナタノ仰シヤルノハ公債ニ持タス

ベキモノヲ持タセナカッタカラ、公債ノ「コ

スト」ヲ割ツテハイケナイト云フノデスケレ

ドモ、此一億九千四百萬圓ト云フ運用餘力

モソレハ四分二厘ノ郵便貯金ノ增加ト云フテ

ハ、郵便貯金ノ增加モアルシ、增加ト云フテ

モ這入ツテ居リマス

○中島委員 公債ニ振向ケベカリシモノデ

モ、今此處ノ一億九千四百萬圓ト云フ餘力

ハ、郵便貯金ノ增加モアルシ、增加ト云フテ

モソレハ四分二厘ノ郵便貯金ノ增加デアッ

テ、而シテ私ノ今申シマシタ色々々ナ方面ノ

貨残リニナッテ貸セナカッタノモアル、サウ

スレバ此利率ト云フモノハ低イ利率ニナッ

テ來ナケレバイケナイ、少クトモ四分二厘

ガ「コスト」ニナッテ來ナケレバイケヌト私

ノ仰シヤルノハ、公債デ持ツベキモノヲ持

テ居リマスケレドモ舉ゲマセヌガ、アナタ

ノ仰シヤルノハ、公債デ持ツベキモノヲ持

ト云フモノヲ割ツテハイカスト仰シヤラレ

タノダケレドモ、併ナガラ此一億九千四百

萬圓ト云フ金ガ浮シテ來タト云フコトハ、

フモノヲ割ツテハイカスト云フ理窟ハ出テ

「コスト」ヲサヘ割ラナケレバ宜イノデハナ

イカ、斯ウ云フ議論ガ發生シテ來ルヤウニ

郵便貯金ヲ財源トシタモノカラ取ツテ來テ、

ソレカラ貸ス計畫ヲシテヤッタ色々々ナモノ

ガアリマセウ、ソレハ讀上ゲマスレバ材料

千萬圓トシタ、斯ウ承知シテ宜シウゴザイ

マスカ——併シサウトシテモ何故ニ是ハソ

レダケノ餘裕ガ出來ルカト云ヘバ、他ノ色

色ナモノニ貸出サナカッタモノガ、中小商工

業者、農村資金ニ貸出サナカッタモノガ、集

リ集ツテ一億九千四百萬圓ニナリマスノデ

スカ、是ハ預金部ノ事ニナッテ來マスケレド

モ……

○大久保政府委員 ソレモアリマセウシ、

又更ニ郵便貯金ノ増加モアリマセウ、ソレ

等ガ一團トシテ一億九千四百萬圓ニナリマ

シタ、其中ニハ公債ニ振向ケベカリシモノ

モ這入ツテ居リマス

○中島委員 公債ニ振向ケベカリシモノデ

ガ、其申不動産ハ一億ニナッテ居リマスガ、

サウシマスト要スルニ他ハ安イ利率デ貨付

ケル、五分トカ四分二厘トカ色々々アリマス

ガ、此不動産ニ依ツテ儲ケテ外ノ奴ヲ助ケル

ト云フ結論ニナッテ來ルト考ヘマスガ、他ト

何故同ジヤウニヤレスカト云フ、斯ウ云フ

疑問ガ吾々ハ生ジテ來マス、少クトモ今日

ノ預金部ノ運用資金ノ餘力ノ見込カラ見マ

スト、公債ヲ賣ツテ後ナラバ宜イ、其點ガ吾

吾ニハ合點ガ行カヌノデアッテ、一億萬圓ニ

限ツテハドウシテモ四分二厘ト云フモノ、

タノダケレドモ、併ナガラ此一億九千四百

萬圓ト云フ金ガ浮シテ來タト云フコトハ、

フモノヲ割ツテハイカスト云フ理窟ハ出テ

「コスト」ヲサヘ割ラナケレバ宜イノデハナ

イカ、斯ウ云フ議論ガ發生シテ來ルヤウニ

利廻ト云フモノヲ割ラヌ爲ニハ、公債ト云

フモノヲ賣ツテサウシテ後ノコトナラバ其

議論ハ立ツ、今公債ヲ賣ルト云フコトニナッ

テ居ナイ、初メカラ此五億ノ資金全部が預

金部ニハナイ、公債ヲ日本銀行ニ持タセ、

ソレカラ金ヲ持ツテ來テ買フナラバ、ソレナ

ラバ公債ノ利廻ヲ割ツテハイケヌト云フ理

窟ハ立ツデセウ、併ナガラサウデナイモノ

ガ茲ニ立ツテ居ルト致シマスナラバ、中小商

工業者ヤ農村ノ色々々貸付資金ガ茲ニアリ

マシタノハ一億八千九百萬圓トナッテ居リ

マシテ、今度ノ預金部ノ委員會ノ決定サレ

ガ茲ニ立ツテ居ルト致シマスナラバ、中小商

工業者ヤ農村ノ色々々貸付資金ガ茲ニアリ

マシテ、今度ノ預金部ノ委員會ノ決定サレ

ガ、其中不動産ハ一億ニナッテ居リマスガ、

サウシマスト要スルニ他ハ安イ利率デ貨付

ケル、五分トカ四分二厘トカ色々々アリマス

ガ、此不動産ニ依ツテ儲ケテ外ノ奴ヲ助ケル

ト云フ結論ニナッテ來ルト考ヘマスガ、他ト

何故同ジヤウニヤレスカト云フ、斯ウ云フ

疑問ガ吾々ハ生ジテ來マス、少クトモ今日

ノ預金部ノ運用資金ノ餘力ノ見込カラ見マ

スト、公債ヲ賣ツテ後ナラバ宜イ、其點ガ吾

吾ニハ合點ガ行カヌノデアッテ、一億萬圓ニ

限ツテハドウシテモ四分二厘ト云フモノ、

タノダケレドモ、併ナガラ此一億九千四百

萬圓ト云フ金ガ浮シテ來タト云フコトハ、

フモノヲ割ツテハイカスト云フ理窟ハ出テ

「コスト」ヲサヘ割ラナケレバ宜イノデハナ

イカ、斯ウ云フ議論ガ發生シテ來ルヤウニ

私共ハ考へマスガ、如何ニ御考へデスカ  
○大久保政府委員 預金部ノ極ク細カイ運  
用ニ付テノ實情ニ付キマシテノ御尋ノヤウ  
デアリマスカラ、或ハ預金部ノ方ノ人カラ  
説明ヲ申上ダタガ判然スルカモ知レマセ  
ヌ、私ノ承知シテ居ル範圍内デハ、此今度  
ノ資金計畫ヲ立テマス時ニ、今迄ノ預金部  
ノ色々ノモノヲスッカリ調べマシテ、或モノ  
ハ低利資金デ行ク、但シ或モノハ國債標準  
デ行カナケレバナラスト云フ計畫ヲ立テマ  
シテ、サウシテ此問題ト中央金庫ノ方ノ問  
題トハ、是ハドウモ國債並デ行カヌトイカ  
ヌ、是ハ公債ニ向ケラルベキ金額ヲコチラ  
ニ向ケルノデアルカラ、ソレニ依ツテ行カナ  
ケレバナラスト云フ計算ノ下ニ是ハ出來マ  
シタノデス、其他ノ各般ノ預金部ノ内容ノ  
計算問題ニ付キマシテハ、實ハ私カラ申上  
ゲテ誤ツテモイケマセヌカラ、御入用デアリ  
マシタラ其係ノ方カラ説明ヲ致スヤウニ致  
シタイト思ヒマス、此問題ニ關スル限り及  
ビ中央金庫ニ關スル限りハ公債ニ振向クベ  
キモノヲソツチニヤッタ、御話ノ通り公債ヲ  
持ツテ行ク、預金部ノ資金計畫ハ全體ニ付  
テヤル譯デアリマスカラ、郵便貯金ノ増  
加等ニ依リ悉ク之ヲ四分二厘デ行クテハ預  
金部ノ計畫ハ立チマセヌノデ、其中或モノ

ハ公債ニ向ケテ、サウシテ相當ノ利鞘ヲ收  
メルデナケレバ、此殖エテ行ク所ノ郵便貯  
金ノ全體ノ賄ハ付ケルコトガ出來マセヌ、  
其計算カラ出テ來テ居リマスル實情デゴザ  
バ係ノ方カラ、ソレゞ説明スルコトニ致  
シタイト思ヒマス

○中島委員 預金部ニ損ヲ掛ケテハ無論是  
ハイケマセヌ、預金部ノ濱口先生が作ラレ  
タノ有利且ツ確實デアツテ公共ノ爲メト  
云フヤウナ規定ニ反シテハイケマセヌガ、  
反シナイ限りニ於テ斯様ニ根本ニ於テ國家  
ガ一億圓モ補償スルト云フコトニナツテ居  
リマスカラ、假令他ノ資金ト同ジヤウナ具  
合ニ、此不動產ト稱スル中央金庫ニ關スル  
限リノ金ダケヲ公債ノ利廻ニシナクテモ、  
預金部ガ損ヲスルト云フコトニナレバ、其

利子ノ足ラヌ所ハ  
〔委員長退席、青木委員長代理著席〕  
私ハ國庫カラ補償シテ政府ニ於テ一億萬圓  
モ補償スルト云フ計畫デアルカラシテ、成  
ベク安イ金利ニシテヤッテ、サウシテ少クト  
モ私共ノ考デハ、田舎ノ金利ガ五分トカ五  
分五厘デアリマスカラ、其預金ノ「コスト」  
ヲ割ラナイ程度ニ於ケルモノヲ此利率デ安  
クシテヤルト云フコトニシナケレバ、是ガ

十分ニ貸出ガ出來ナイノデハナイカト云フ  
コトヲ私共心配シテ居リマスガ、サウナレ  
バ預金部ガ損セヌヤウニスルガ爲ニ、公債  
ノ利廻ト云フ事ニ付テ執著セズニ、他ノ資  
本ト同ジヤウナ程度ニ低イ利率ニヤルト云  
フコトガ、即チ此「インフレーション」政策ノ  
低金利政策ノ根本ニ副ヘルモノデハナイカ  
ト私ハ考ヘマス、其點ハ如何ヤウニ御考ヘ  
デセウカ、足ラナケレバ利息ダケデモ補給  
シテヤツタラ宜カラウト思ヒマス、其位ノ決  
心ヲ以テヤツテ行カナケレバ貸出ハ出來ナ  
イト思フ、ソレカラモウ一ツ武田君カラ屢々  
立案者ノ大久保局長ガオキデアリマスカ  
ト云フコトヲ皆ガ心配シテ居ル、幸ニシテ  
立案者ノ大久保局長ガオキデアリマスカ  
ラ、細カイ數字ヲ擧ゲテ御説明ヲ願ヒタ  
ム

○大久保政府委員 第一ハ六分二厘ト云フ

利率ノ御話デアリマス、成程國家ガ利子ヲ  
補給スルマデ進ンデヤレバ低金利ニナルダ  
ラウト思ヒマスガ、ソコマデシナイデモ相  
當ニ働クデアラウ、而モ今御話ノ地方ノ金  
利ト云フモノハ定期預金ト云フヤウナモノ  
ヨリ實際ノ「コスト」ハ上デアラウト思ヒマ  
ス、六分見當ノ利率ハ地方ニ於テハサウ高  
イモノデハアリマセヌ、ノミナラズ政府カ

ハ公債ニ向ケテ、サウシテ相當ノ利鞘ヲ收  
メルデナケレバ、此殖エテ行ク所ノ郵便貯  
金ノ全體ノ賄ハ付ケルコトガ出來マセヌ、  
其計算カラ出テ來テ居リマスル實情デゴザ  
バ係ノ方カラ、ソレゞ説明スルコトニ致  
シタイト思ヒマス

○中島委員 利率ノ點ニ付テハ私共了解ニ  
苦シミマスガ、是レ以上申上ゲテモ仕方ガ  
ナイ、モウ一ツ私的ニ伺ッタコトデアリマス  
ガ、世間デハ此問題ヲ誤解シテ居ル人ガア  
リマシテ、勸銀、農工、拓殖等ノ銀行カラ  
六分二厘デ貸シテ吳レルヤウニ思ツテ居ル、

ラ直チニ行キマスカラ「コスト」ト云フモノ  
ガ殆ド無イヤウナモノデアリマス、預金「コ  
スト」ヲ見マスト、大キナ銀行デモ普通五  
厘、小サイ銀行デハ其「コスト」ガ非常ニ大  
キイノデアリマス、然ルニ是ハ「コスト」無  
シニ行ク資金デアリマスカラ、六分ソコソ  
コノ利率ハ高イモノデハナイト思フ、況ヤ  
一方ノ不動產ニ對スル金融方面ハ今直チニ  
之ヲ急激ニ下グル必要ハナイカラ、六分二  
厘デ行クテ、一分五厘カ二分ノ鞘ヲ取リマシ  
テモ、不動產ノ金利ハ七分乃至八分、大體世  
間ノ利率トシテハ極ク安イ勸業銀行ノ利率  
ニ落付ケルノデアリマスカラ、左程不當ト  
ハ考ヘマセヌ、私等ノ方トシテハ、非常ナ  
低金利ヲ出シテ經濟界ニ急激ナ變動ヲ與ヘ  
バ相當ニ働クダラウト思ヒマス、尙ホ一億  
圓ノ補償ノ根據ニ付テ御尋ガアリマシタ  
ガ、私トシテハ昨日御説明申上ゲタ範圍デ  
ゴザイマス

○中島委員 利率ノ點ニ付テハ私共了解ニ

代議士、モサウ思<sup>ツ</sup>テ居ル人ガアル、ソレカラモウ一ツハ此融通ニ依<sup>ツ</sup>テ普通銀行カラ  
——假ニ私が債務者トナッテ借りテ居ルトスル、不動産ヲ擔保ニ使<sup>フ</sup>テ居ル、ソレヲ私ガ勸業銀行ニ肩代リシテ貰フ時、若クハ銀行ガ其融通ニ依<sup>ツ</sup>テ借りニ行ク時ニハ、六分二厘ニナル、一方ニ直接勸銀カラ借りル者ハ七分二厘ニナルノハ非常ナ不公平デハナイカト云フ誤解ガアル、此點ニ付テ此際數字的根據ヲ御示シ下サル方が世間ノ誤解ヲ解ク爲ニ便利デハナイカト思ヒマス。

○大久保政府委員 勸業銀行ニ直接取引シテ居ル人ハ七分二厘、本法ニ依ルモノハ六分二厘デ、不公平ダト云フ誤解ガアルカラソレヲ説明スルヤウニト云フ御話デアリマス、此點ハ中島サンノ御話ノ如ク、勸銀ニ直接借りリテ居ル債務者ニ對シテハ本法ヲ適用スル限りデハアリマセヌ、本法ニ示シテアリマス通り、此融資ヲ受ケヤウトスル者ハ銀行デアリマストカ、直接債務者ガ之ニ依<sup>ツ</sup>テ借換ヲスル場合デアリマス、其點ハ明カニ申上ゲテ置キマス、然ラバ、此融通法ヲ通シテ借ル場合ニハ六分二厘ニナリ、勸銀カラ直接借ル時ハ七分二厘デ、一分ノ差ガアル、不公平デハナイカト云フ御尋デアリマスガ、普通銀行ヲ通シテヤル場合ニハ、普通銀行カラ

二厘ニナル、一方ニ直接勸銀カラ借りル者ハ七分二厘ニナルノハ不公平デハナイカト云フ誤解ガアル、此點ニ付テ此際數字的根據ヲ御示シ下サル方が世間ノ誤解ヲ解ク爲ニ便利デハナイカト思ヒマス。

○大久保政府委員 勸業銀行ニ肩代リスル時、若クハ銀行ニ肩代リシテ貰フ時、若クハ銀行ガ其融通ニ依<sup>ツ</sup>テ借りニ行ク時ニハ、六分二厘ニナル、一方ニ直接勸銀カラ借りル者ハ七分二厘ニナルノガ多イト言ハレテ、少シ違フヤウスレバ、其鞘ガ一分乃至二分トナリマスカラ、是等ノ方面カラ行ク金ノ利率ハ勸銀ノ直接取引ヨリハ少し高イノデアリマス、只問題ハ肩代リノ場合デアリマス、若シ不動

產ヲ普通銀行ニ出シテ借りテ居ル人ガ、ソレヲ勸業銀行ヘ持<sup>ツ</sup>テ行<sup>フ</sup>テ肩代リヲ受ケマシテ、其結果六分二厘ニナ<sup>ツ</sup>タ場合ヲ想像スレバ、其方が御話ノ通り有利デアリマス、併シ多クノ場合武田サンガ御話シノ通り、今日ノ不動産ノ價格カラ見マシテ、勸業銀行ノ鑑定價格ハサウ全額ハ行キマセヌ、假ニ半額ト見ルト、ソレダケハ六分二厘ニナリマスガ、残リ半額ガ普通銀行デ一割<sup>ト</sup>出シテ居ルトスレバ平均八分ニ當リ、九分デナリマセウガ、稍此程度ニ於テ適當ナ利率モ、亦將來ヲ達觀シテモ、肩代リノ方ガ多モ同ジデアリマシテ、銀行ヲ通ジテ行ク場合ノ計算ヲ申上ゲテ居ルノデス、銀行ヲ通ジテ行ク場合ハ、銀行ハ金融流通デ金ヲ貸出シテ居レバ平均七分何厘ニナリマス、勸銀トノ直接取引ニ比べテ幾ラカ高イコトニナリマセウガ、稍此程度ニ於テ適當ナ利率ニ落付クデアラウ、此見込ス、其貸ス時ニハ鞘ヲ取ラネバナラヌカラ

○中島委員 サウシマスト、平均普通銀行ガ御説明ニナリマシタ時、二億圓ヲ決定シテ八百萬圓ダケ貸シテ、アト残<sup>ツ</sup>テシマッタ、借ルコトニナル、ソレハ今ノ勸業銀行デ借

通銀行ガ直接債務者ニナッテ不動産銀行カラ借ルト、其利率ハ六分二厘デアリマス、此六分二厘ヲ更ニ融通スル場合ヲ想像シマスレバ、其鞘ガ一分一分カ二分位ノ少ク、是等ノ方面カラ餘計ニ借リテ居リマスカラ、全額勸業銀行ナドカラ肩代リハ出來トモ不公平ヲ認メテ掛<sup>ツ</sup>テ居ルト見テ宜シ

○大久保政府委員 私ノ説明ガ徹底シテ居リマセスガ、銀行ノ請求ニ依<sup>ツ</sup>テ是ハ出スノデアリマスガ、其借ル主體ハ銀行ガ多イカ、或ハ銀行ヲ通ズル所ノ肩代リガ多イカト云フコトニ付キマシテハ、過去ノ例カラ見テモ、亦將來ヲ達觀シテモ、肩代リノ方ガ多モ同ジデアリマシテ、銀行ヲ通ジテ行ク場所ハ大差ナイ所ニ落付クデアラウ、此見込ス、其申上ゲタ譯デアリマス

○中島委員 サウスルト肩代リノ場合ガ多イト此前申サレタノハ間違デスカ

○大久保政府委員 其點ハ同ジコトナンデス

○中島委員 サウスルト肩代リノ場合ガ多イト此マスカラ、債務者ハ安イ利率デヤナイ、肩代リノ場合ハ、普通銀行カラ借リタ金額ト同ジモノデアレバ、是ハ七分

二厘トデ、平均八分位ノ所ト見テ宜イデス

ネ

○大久保政府委員 左様デゴザイマス

○中島委員 一方ハ六分二厘デ借りテ、其

鞘ガ一分位ノモノデ銀行ハ貸シマセウカ、  
私ハ鞘ヲモット取ルデアラウト思ヒマスガ

ドウデセウ

○大久保政府委員 其鞘ハ必シモ豫定スル

譯ニハ行キマセヌケレドモ、先程武田サン  
カラ御話ニナツタ通り、普通銀行ハ一分トカ

二分トカ云フ鞘ヲ取ッテヤッテ居リマス、ソ

レデスカラ勸業銀行ノヤウニ六厘ト云フヤ

ウナコトニハ参リマセヌ、若クハ銀行ニ依

テソレヨリ高クナリマセウ、ソレハ間違ア

リマセヌガ、極ク穩ナ所ヲ採ッテ申上ゲテ居

ル次第アリマス

○中島委員 此鞘ガ問題デアラウト思ヒマ

ス、又安イ金ト云ヒマシテモ、鞘ノ如何ガ此  
融資ノ民間ニ曹及スルカ普及セヌカト云フ

重大ナル問題ニナツテ來ルト思ヒマス、實蹟  
ト致シマシテ、預金部ガ御承知ノ通り勸業

銀行ニ貸付ケルニハ其鞘ヲ六厘ト見テ居リ  
マス、普通銀行ガ債務者ニ貸スノハドレ位

ノ鞘デ御監督爲サル積リデアリマスカ、其  
點ハ銀行ニ一任スル積リデアリマスカ、銀  
行ハ出スカモ知レマセヌケレドモ、債務者

ノ方ハ此融資ガ使ヘスト云フ結果ニナリマ

スカラ、一厘位ノ鞘デ普通銀行ハヤリマセ

ウカ、其點ハドウ御觀測デアリマスカ

○大久保政府委員 此前ニモ申上ゲマシタ  
ガ、今ノ鞘ニ付テハ別段ニ今度ノ法律ハ金

融疏通ヲ受ケタ所謂融資請求銀行、其銀行  
ガソレヲ何ニ使フカト云フコトハ限定致シ

テ居リマセヌ、是ハ銀行ノ活動ヲ盛ンナラ

シメルト云フ意味カラ別段限定ヲ加ヘテ居

リマセヌ、併シ金融ノ大勢カラ見マシテ、  
サウ非常ナ、不當ナ鞘ヲ取ルトハ考ヘテ居

リマセヌ

○中島委員 此融資ノヤリ方ニ付キマシテ

ハ、細則ニ互リマスト云フト、是ハ預金部

ノ方ト勸業銀行トノ間ニ契約證文ヲ拵ヘマ

リト拂年六分二厘ト云フヤウナ契約ノ行爲ニ

ナルデアラウト思ヒマス、更ニ其銀行ノ融

資總額ヲ幾ラヤル、例ヘバソレニ對シテ色

色ナ引受マス金額ノ程度、或ハ大藏省預金

セウ其點ハドウナツテ居リマスカ

○大久保政府委員 勸業銀行等ノ不動産銀

行ト政府トノ間ニ契約ガ出來マス

○中島委員 其契約ノ約款ノ中ニドウ云フ

程度マデ謳フノデアリマスカ、私ノ質問ス

利拂等モ載ルコト、思フ、其他必要ニ應ジ

テ色々實際ノ必要ニ適當スルヤウナ事情ヲ

考ヘマシテソレニ依テ緩和シテ行ク積リ

デアリマス

○中島委員 今ノ鞘ノ點ニ付テハ別ニ御指

示ハアリマセヌネ、ソレハ銀行ノ措置ニ任

カ

○大久保政府委員 損失ニ關スル事柄ハ此

法律ノ條項ニ書イテアリマスル通り、ソレ

約ノ約款ノ中ニ決メルノデハアリマセヌ

ゾレ基準ヲ大藏大臣ガ定メマス

○中島委員 十五年以内ト云フノハ今日：

ノシナイ、大體ニ於テ銀行ノ監督モ致シテ

準ニナツテ、其基準ニ基イテ審査委員會ニ於

ルノデアリマス

○大久保政府委員 其大藏大臣ノ定メル細

目ニ付キマシテハ、大體ニ於テ融資ノ擔保

トナルベキ不動產又ハ財源ノ範圍ニ於テ指

定致シタイト思ヒマス、次ニハ例ヘバ不動

產ト云フモノニ付テモ色々ノ種類ガゴザイ

シマシテハ、其點ニ付テモ十分御監督アラ

シコトヲ希望致シマス、ソレカラモウツ

ハ十五年ノ後ニ於テ補償ヲ決定スルコトニ

ニ付テモ相當ノ分界ヲ立テナケレバナラヌ

ト思フ、例ヘバ建物等ニ付テハ保険付キニ

リマセヌ、併シ金融ノ大勢カラ見マシテ、  
サウ非常ナ、不當ナ鞘ヲ取ルトハ考ヘテ居

リマセヌ

○中島委員 此融資ノヤリ方ニ付キマシテ

ハ、細則ニ互リマスト云フト、是ハ預金部

ノ方ト勸業銀行トノ間ニ契約證文ヲ拵ヘマ

リト拂年六分二厘ト云フヤウナ契約ノ行爲ニ

ナルデアラウト思ヒマス、更ニ其銀行ノ融

資總額ヲ幾ラヤル、例ヘバソレニ對シテ色

色ナ引受マス金額ノ程度、或ハ大藏省預金

部カラ出テ行ク財源ノ條件、ソレニハ無論

ナケレバ、是ハ私ハサウ決定シナイト思ヒ  
マス、ソレカラ先ハ監督ノ問題デアリマス、  
貸付ノ態度ノ問題デアリマスガ、希望ト致  
シマシテハ、其點ニ付テモ十分御監督アラ  
シコトヲ希望致シマス、ソレカラモウツ  
ハ十五年ノ後ニ於テ補償ヲ決定スルコトニ  
ナツテ居リマスネ

○大久保政府委員 其點モ殆ド法律ノ中ニ  
ハ規定シテゴザイマセヌ、此前ノ特別融通

ニ付テモ其點ハ規定シテハゴザイマセヌ、  
方針ト致シマシテハ十五箇年内ト雖モ其事

實ガ的確ニ發生シタル場合ニ於テハ補償シ  
テモ差支ナカラウト云フ意見ヲ持ッテ居リ  
マス

○中島委員 十五年以内ト云フコトハ命令

ノ中ニ決メルノデハアリマセヌデ、寧ロ契  
約ノ約款ノ中ニ決メルノデハアリマセヌ

ゾレ基準ヲ大藏大臣ガ定メマス

○大久保政府委員 損失ニ關スル事柄ハ此

法律ノ條項ニ書イテアリマスル通り、ソレ

約ノ約款ノ中ニ決メルノデハアリマセヌ

ゾレ基準ヲ大藏大臣ガ定メマス

○中島委員 十五年以内ト云フノハ今日：

ノシナイ、大體ニ於テ銀行ノ監督モ致シテ

準ニナツテ、其基準ニ基イテ審査委員會ニ於

テ決定スルト云フコトニナッタ、ケレドモ五年以外デモ…:

○中島委員 本法施行ノ日ヨリ十五年ヲ超ユルコトヲ得スト書イテアリマスガ…:

○大久保政府委員 ソレハ貸付ノ期限、デアリマス、其期限ノ間ニ相手銀行ガ破綻シタガ出來タナラバ、是ハ已ヲ得ナイコト、思ヒマス。

○中島委員 「本法施行ノ日ヨリ三年トシ其ノ融通ノ期限ハ本法施行ノ日ヨリ十五年ヲ越ユルコトヲ得ズ」トシテ、三年間据置イテアト十五年ヲ超ユルコトガ出來ナイト云フコトニナッテ居ルノデスネ。

○大久保政府委員 全體ヲ通ジテ十五箇年ヲ超ユルコトヲ得ナイコトニナッテ居リマス。

○中島委員 此十五年ガ私ハ非常ニ問題ニナッテ來ハセヌカト思フ、不動産ノ貸付狀況ヲ見マスト、農工銀行カラ一例ヲ取リマスト、二十箇年、二十五箇年ト云フノガ相當ニ多イ、利息ガ安クテモ期限ガ短ケレバ均等償還ニ之ヲヤルダラウト思ヒマスガ、均等償還ニスレバ其年々ノ負擔ガ多クナリマス、債務者ノ負擔ガ相當重クナリマス、期限ガ長ケレバ長イ程償還ノ負擔ガ輕クナル、

サウスレバ利息ガ高クテモ一年々々ニ返すべき金ガ少ケレバ負擔ガ少イ、所ガ農工銀行ニユルコトヲ得スト書イテアリマスガ…:二十年トカ二十五年トカ云フモノガ相當アリソレバノ機關ノ均衡ヲ失フヤウナコトリマス、其期限ノ間ニ相手銀行ガ破綻シタガ出來タナラバ、是ハ已ヲ得ナイコト、思ヒマス。

○大久保政府委員 年限ニ付テモ考慮致シテ見マシタガ、其前ニ今ノ御尋ニ年賦償還ニヤラウト云フコトニアリマスガ、是ハ出来ルダケ今マデノ普通銀行ノ取扱等ヲ緩和致シマシテ、敢テ農工銀行デ謂フ年賦、デナクテモ、其他定期デアリマシテモ、ソレハ法律ノ上ニ除外例ガ書イテアリマスル條項ハ大體眼中ニ置イテアルノデアリマスガ、年限ハ定期償還ノ貸付デモ宜シウゴザイマス、其定期モ今ノ法律ハ五箇年トナッテ居リマスガ、其定期ガモット長クテ十年デアット、二十箇年、二十五箇年ト云フノガ相當ニ多イ、利息ガ安クテモ期限ガ短ケレバ均等償還ニ之ヲヤルダラウト思ヒマスガ、均等償還ニスレバ其年々ノ負擔ガ多クナリマス、債務者ノ負擔ガ相當重クナリマス、期限ガ長ケレバ長イ程償還ノ負擔ガ輕クナル、

サウスレバ利息ガ高クテモ一年々々ニ返すべき金ガ少ケレバ負擔ガ少イ、所ガ農工銀行ニユルコトヲ得スト書イテアリマスガ…:二十年トカ二十五年トカ云フモノガ相當アリソレバノ機關ノ均衡ヲ失フヤウナコトリマス、其期限ノ間ニ相手銀行ガ破綻シタガ出來タナラバ、是ハ已ヲ得ナイコト、思ヒマス。

○大久保政府委員 年限ニ付テモ考慮致シテ見マシタガ、其前ニ今ノ御尋ニ年賦償還ニヤラウニ此法ヲ拵ヘタ次第デアリマスルヤウニ此法ヲ併セ用ヒマシテ、頗ル便宜ニヤス。

○中島委員 均等償還デアルトカ年賦償還デアルトカ色々制限ヲ致シタイト思フノデス

○大久保政府委員 制限ハ必シモ固執シハ、御舉グニナリマシタノト達ヒマシテ、吾々ノ方ノ統計デハ十五年以下ノ方ガ多イヤウデゴザイマス、無論二十箇年モ二十五箇年モ無イトハ申シマセヌ、相當ニアリマス、併シ大抵ハ多イト云フ譯デハナイ、此融資ノ目的ハ御承知ノ通リ非常對策デヤルノデアリマシテ、今ノ普通銀行ノヤッテ居ル事柄ヲ頭ニ置キマシテ、ソレヲ不動産ノ銀行ニヤラセマスノデスカラ、大體一番多い時期ヲ押ヘマシテ、其多イ時期デ以テ、本法ノ目的ハ十分達シ得ルト思ヒマシテ十五年ニ致シタノデアリマス、ソレハ產業組合中央金庫ノ方デモ同ジコトデアリマス。

テ、私共ハ長イ方ガ宜イト思ヒマスケレドモ、短イ方ガ宜イト云フナラバ議論ノ岐ル點ニアリマスガ、十月カラ郵便貯金ノ利子ヲ三分ニ下ゲマスト、六分五厘ト云フモノハドウ云フヤヴィ動カシテ來ルノニアリマスカ、モット下グル御決心ニアリマスカ、政府ノ御方針ヲ伺ヒマス

○大久保政府委員 先程モ申上ゲマシタ通り此資金計畫ハ郵便貯金其モノヲ標準ニシテヤル様子デゴザイマス、預金部ノ全體ノ計畫カラ見マシテ、預金部ハ御承知ノ通り郵便貯金ノ利息ヲ標準ニシテ貸シテ居ル、所謂低利資金ト云フモノガアリマス、ソレガ非常ニ澤山ノ額ニナッテ居リマス、併シソレバカリデハ預金部ノ低利ト云フモノハ出来ナイノデスカラ、相當額ヲ公債等ニ向ケルト云フ方法ヲ採テ居リマス、場合ニ依テハ其公債ヲ處分シテヤッテ行カナケレバナラヌト云フ建前カラ、此金ガ出テ居リマス、金額モ多イト云フ譯デゴザイマスカラ、計算ノ標準ハ大體ニ於テ國債ノ利廻ト云フコトヲ土臺ニ致シマス故ニ、十月以降郵便貯金ノ利息ガ安クナッタカラト云フテ、此公債利廻ノ計算ガ直チニ安クナルノデアルトハ思ヒマセス、又其程度ニ付テハ餘程事情ガ變テ居ルダラウト思フ、是ハ専ラ公債ノ

利廻標準ト云フコトデヤッテ居リマス、十月ノ郵便貯金ニ直接ニ直チニ隨伴シテ來ルモノダト云フ意味ニハナツテ居リマセヌコトヲ御承知ヲ願ヒマス

○中島委員 郵便貯金ノ利子ヲ下ゲテ低金利政策ヲ執ツテ行キマス爲ニ、公債ノ利廻ガ低下スルト云フコトハ確デアル、然ラバ公債ガ上ツタナラバ低下サシテ行クト云フコトヲ政府トシテ茲ニ斷言シ得ルデアリマセウカ、又斷言シテ貰ヒタイノデスガ、如何デアリマスカ

○大久保政府委員 大臣モ其點ニ付テハ御答ニナッテ居ルヤウニ記憶致シテ居リマス

ガ、郵便貯金ノ利下ハ融通ノ問題ト直接ニ關聯ハ出來ヌケレドモ、將來公債ノ利廻ニ付テ適當ノ方法ハ考ヘネバナラナイ、其程度テ御諒承ヲ願ヒタイ

○中島委員 私ノ質問ハ此程度デ終了致シマス

○青木委員長代理 風見君ガ居ラレナイヤウデアリマスカラ、ソレデハ小笠原君

○小笠原委員 私ノ質問ハ多少重複ヲシテ

居ツテ、大變御迷惑カト思ヒマスガ、今ノ御説明ノ中デ分ラヌ所モアリ、且ツ多少私ノ見ル所ト違フ所モアルノアリマスノデ、

同ジャウナ質問ヲ少シ繰返スヤウニナルカ

モ知レマセヌガ、御迷惑ナガラ御答辯ヲ願ヒマス、第一ニ私ハ此案ガ不動産ダケノ損失補償法案トナツテ居ツテ、而モ今財界ノ現状ニ鑑ミ金融ノ疏通ヲ圖ル爲ニト書イテアリマスガ、實際ハ廣ク不動産ニ融資ヲスルノデナクテ、ホンノ困ツテ居ル地方銀行ノ救濟ダケニ與ヘルヤウニナツテ居ルト思ハレル、或ハ最近ノ地方銀行ノ現状、殊ニ今年三月アタリ、名古屋地方ニ起ツタ金融恐慌等ノ事情カラ斯ウ云フヤウナ案ガ出タモノデアルト思ハレマスガ、併シ不動産融資法ト廣ク銘ヲ打ツテ居リナガラ、ホンノ限ラレタ地方銀行ダケニ融通ヲスル、地方銀行ノ中ノ今迄貸出シタ所謂凍結資金ダケニ融通ヲスルト云フノデハ、大變ニ名前ト實際ト違ツタ、所謂名美ニシテ其實ニ伴ハナイト云フコトガアルノデハナイカ、寧ロ不動産資金融通ノ非常ニ要望ノ多イ此際デアルカラ、此法案デモ致方ガナイカラ、此法案ヲ出來ルダケ擴ゲテ、一般ニ不動産融資ノ目的ニ使ハルヤウニ修正サレルヤウナ御意図ハナイカドウカト云フコトヲ第一ニ承リタイ

○大久保政府委員 不動産資金化ト世間ニ唱ヘラレテ居ルモノハ、大體ニ於テ普銀通行等ノ持ツテ居ル不動産ヲ、固有ノ不動産ルト云フト、殆ドマダ五分ノ一位ノモノシ

カ擔保化サレテ居ナイト云々タヤウ ナ現状  
デアッテ、今日マデ地方ノ更生ノ爲ニモ一番  
必要ナノハ、實際ニ於テ不動產ヲ資金化ス  
ルコトナノデアル、サレバト云々テ勸業銀行  
デアルトカ、或ハ農工銀行デアルトカ、斯  
ウ云フモノ、債券發行ノ狀態ヲ見マスト云  
フト、ドウモ少シ飽和狀態ニ達シテ居ルノ  
デハナイカト考ヘマス、最近勸業銀行、農工  
銀行アタリノ債券ガ餘り能ク賣レナイト云  
フコトヲ認メルノデアリマスガ、或ハ現下  
ノ時局匡救ノ爲ニハ、モウ少シ進ンデ、亞  
米利加ノ所謂復興金融會社ト云フヤウナモ  
ノヲ作ッテ、ア、云フ本當ノ意味ノ不動產融  
資ヲ目的トシタ、モウ少シ廣イ根本的ナモ  
ノヲ作ルト云々タヤウナ御考ガ別ニアルカ  
ドウデアリマスカ、其事ヲ御伺致シタイ

○大久保政府委員 非常ニ大キナ問題デ、  
私カラ御答スルニ相應シクナイヤウニ思ヒ  
マスガ、只今ノ計畫ソレ自身トシテハ何等  
考ヘテ居リマセヌノデアリマス

○小笠原委員 第三ニ此例ノ融資銀行ニ對  
スル損失補償額ノ問題デ、是ハ昨日來非常  
ニ問題ニナッテ居ル、一億デハ非常ニ足ラヌ  
ト云フヤウナコトガ大體ノ意見ノヤウデア  
リマス、私モ此一億圓デハ實際ニ於テハ足  
ラナイデアラウト思フ、先づ今迄銀行ノ貸

出シタル所ノ實例カラ見ルト云フト、最初  
ノ一億圓ナラ一億圓ダケハ容易ニ貸スケレ  
ドモ、其次ノ金ハ貸サヌト云フコトガ、實  
際ニナッテ來ハセヌカト思フ、ソレハ現時ノ  
狀況デ見マスト、中々不動產ノ收益率ガ低  
イノデアリマス、六分二厘ノ利息ノコトニ  
付テハ又後カラ申シマスガ、是ハ相當安イ  
モノデアリマスケレドモ、收益率カラ見レ  
バ、六分二厘ノ利息ハ實際ニ於テハ拂ヘナ  
イ、サウスルト三年モ經ツテ其儘滞ツテ居ル  
トニ割ニナッテシマフ、五億ニ對スルニ割ト  
云フヤウナコトデアルト云フト、實ニ危險  
ヲ銀行ニ感ズルコトニナルカラ、自分ノ「リ  
スク」デ貸出スト云フコトハ、今ノ銀行ニ  
於テハ中々ヤルマイト思ヒマスシ、而モ補  
償ハ五年ノ後、七年ノ後、事實問題ガ起レ  
バヤルト云フ御話デアリマスガ、何レニシ  
テモ十五年ト云フ非常ニ長イモノデアレバ  
長イ要求ガ多イダラウト思フ、サウ云々タヤ  
ウナコトニナルト銀行ガ非常ニ「リスク」ヲ  
見込ンデヤレバ別デスガ、銀行業トシテ貸  
出ヲスレバ一億ノ補償ナラ二三億シカ奮發  
ハシ兼ネルダラウト私ハ考ヘルノデアリマ  
ス、サウ云々タヤウナ點カラ見テ一億デハ  
私ハ非常ニ足ラヌト思フ、是ハ少クトモ倍  
額位ニハ増額サレル必要ガアルト思フノデ

アリマスガ、是ハ差當リ豫算ノ伴フ問題デ  
モナイガ、政府ノ方デサウ云々タヤウナ  
リマセウカドウデスカ、其事モ併セテ伺ヒ  
マス

○大久保政府委員 昨日來此問題ニ付テ御  
尋ヲ蒙ツテ居リマス次第デアリマス、是ハ結  
局見方ノ問題ダラウト思フノデアリマス、  
今迄ノ例ニ御舉ゲニナリマシタ場合ニハ不  
幸ニシテ特別融通ノ例ヲ譬ヘテ見マスト、  
擔保ノ種類等ハ種々雜多ナルモノデアリマ  
ス、而モ非常ナル取急ギノ場合デアリマ  
ス、御説ノヤウナ用心ヲ金融業者トシテハ  
ヤルコトカト思ヒマス、併ナガラモウ三十  
年來不動產ニ付テハ取扱ヲシテ居ル立人デ  
シテ居リマス、過去ノ例カラ見マシテモ昨  
日來申上ゲマス通リ相當ナル成績ヲ皆舉ゲ  
テ來テ居リマスカラ、今後不動產ヲ取扱フ  
上ニ於キマシテ、是等ノ専門的ノ銀行ハ大  
體十分ニ不動產ニ付テハ承知致シテ居リマ  
ス、ソレドヽ鑑定ノ機關モ完備致

タト云フ考ヲ持ツ程度デアリマスカラ、マ  
ア全部損失ニナル、或ハ半分モ損失ニナル  
ト云々タヤウナ具合迄ニハ考ヘナイデ宜カ  
ラウト思フノデアリマス、其程度ノ具合ハ  
自カラ是ハ實行ニ讓ルノ外ナイト思ヒマス  
ガ、大體ニ於テ今ノ程度ニ於テハ全部處分  
ヲ受ケルト云フ風ニハドウシテモ思ハレマ  
セヌ、ノミナラズ相手先ニハ相當ノ銀行ヲ  
全部充テ、アリマスカラシテ、大體ニ於テ  
此程度デ行ケルカト見テ居リマス

○小笠原委員 其點ニ付テハ私ト見ル所ガ  
違ヒマスガ、是ハ又後カラ機會ガアレバ申  
上ゲルコトニシテ、實ハモウ十分バカリ御  
尋シタイコトガアリマスカラ私ノ質問ダケ  
ヲ先ニ致シマス、第四ニ御尋シタイノハ本  
法ニ依ル融通ハ施行ノ日カラ三箇年トナ  
テ居リマス、金融ノ疏通ヲ圖ル必要ガアル  
場合ニハ、現在ノ貸出ノミニ限ラズ三箇年  
ニ行ハレル新規ノ貸出ヲモ含ンデ居ルモノ  
デアリマセウカドウデセウカ、其點ヲ一つ  
御伺申上ゲタイト思ヒマス

○大久保政府委員 ソレハ含ンデ居リマセ  
ヌ、今迄ノ分ダケデゴザイマス

○小笠原委員 ソレデハ質疑第五トシマシ  
テ、其融資銀行ノ中ニ、是ハ不動產融資ノ  
關係モアルカラ、日本銀行モ一ツ其中ニ加

ハルコトニセラレタラドウカ、斯ウ云フヤ  
ウナ感ジガスルノデアリマス、ソレハ融  
通ヲ受ケルモノガ大部分銀行デアリ、其中  
ニハ休業銀行中ノ開店ノ見込ノアル分モ含  
ンデ居ルトスレバ、其整理ノコトハ日本銀行  
等ガ能ク承知ノ筈デアル、此銀行ノ内情及  
前途ニ付テ最モ能ク知ッテ居ラレル所ノ日  
本銀行ヲ一つ加ヘルト云フコトハ、特ニ金  
融ノ必要ノ有無ヲ認定スル上ニモ、最モ宜  
クハナイカト思フノデアリマスガ、其點ニ  
對シテ御考ハドウデアリマセウカ、特ニ地  
方ノ相當ナ銀行ニナルト、勸業銀行ノ支店  
ノナイ處デハ、農工銀行ニ賴ミニ行クコト  
ハ少シ體裁上困ルコトガアル、殊ニ今度ノ  
休業銀行ガ開店スルト云フ場合ハ、或ハ取  
引上ノ必要カラ不動産ヲ資金化シナケレバ  
ナラヌ場合ニ駆込ムノニ、日本銀行ナラバ  
親ニ對スルヤウナ感ジデ左迄ノ苦痛ハアリ  
マセヌガ、農工銀行等ニ自分ノ腹ノ中マデ  
打明ケテ相談チシナケレバナラスト云フコ  
トハ、地方銀行當局者トシテ相當ニ苦痛ヲ  
感ズルコトデアラウト思フノデアリマス、  
昭和二年ノ特別融資法トハ大分事情ガ違フ  
ケレドモ、矢張之ニ日本銀行ヲ一つ加ヘテ  
置カル、方ガ、實際問題トシテ宜クハナイ  
カト私ハ考ヘルノデアリマスガ、其點何カ

加ヘルコトハ困難デアルト云フ風ナ事情ガ  
アリマセウカ、或ハ加ヘテモ宜イト云フ御  
考ガアルカドウカ一寸伺ッテ置キマス  
〔青木委員長代理退席、委員長著席〕  
○大久保政府委員 御説ニハ御尤ナ點モ可  
ナリアルト思ヒマス、其點モ考ヘテ見マシ  
タガ、前ノ特別融通ノ場合ニ於テスラモ、  
擔保ガ不動産デアル場合ニハ、是等ノモノ  
ノ意見ニ依ツテハ相當動イテ居リマシタコ  
トハ、御承知ノ通デアリマス、ドウシテモ物  
ガ不動産デアリマスカラ、日本銀行デハ旨  
ク參リマセヌ、矢張不動産ヲ專門トシテ居  
ル所ノ是等ノ金融機關デナイト實蹟ヲ舉ゲ  
難イノデアリマス、殊ニ期間モ非常ニ長イ  
ノデ、各種ノ點カラ見マシテ、ドウモ是ハ  
不動産金融機關ノ領分デアルト認メマシテ  
是ダケニ致シマシタ、今日ノ所ハ日本銀行  
ヲ入レル意思ハ持ツテ居リマセヌ  
○小笠原委員 先刻中島君カラモ御尋ガア  
リマシタガ、此融資期限ヲ十五箇年トセラ  
レテ居ルノハ、多分借主ガ銀行デアルカラ  
十五箇年ノ中ニハ整理ガ出來ルデアラウト  
性質上、六分二厘ハ高イト思フノデアリマ  
ス、殊ニ先刻モ御話ガ出タヤウニ郵便貯金  
ト云フコトデ決メタ次第デアリマス  
云タヤウナ御考ニ基クモノカトモ考ヘル  
ノデアリマスガ、不動産其モノ、性質カラ  
見マスレバ、私ハ矢張モウ少シ長ク二十箇  
年トカ二十五箇年ト云タヤウナコトニス

ル方が適切デハナイカト思フ、ソレハ現ニ  
凍結シテ居ル所ノ不動産デアッテ、新規ニ融  
通ヲ求メルモノト違フコトデアレバ、一層  
サウデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、  
之ヲ延長スル御考ハアリマセヌカ、或ハ先  
ヘ行ツテ又期限デモ延長スル必要ガアレバ、  
ノデアリマセウカドウカ、其點ヲ一つ伺ッテ  
相談シテモ宜イト云フヤウナ御考ニ基クモ  
サウデハナイカト考ヘルノデアリマセウ  
カト御同致シマス、尙ホ昭和二年ノ特融法ニ  
置キマス  
○大久保政府委員 先程カラ申シマス通り  
此普通銀行ノ實際ハ非常ニ短イノデゴザイ  
マス、ソレハ農工銀行等ニ於テモ大體ニ於  
テ十五箇年以下ノガ多イノデゴザイマス、  
ノデ、各種ノ點カラ見マシテ、ドウモ是ハ  
不動産金融機關ノ領分デアルト認メマシテ  
是ダケニ致シマシタ、今日ノ所ハ日本銀行  
ト云フコトデ決メタ次第デアリマス  
云タヤウナ御考ニ基クモノカトモ考ヘル  
ノデアリマスガ、不動産其モノ、性質カラ  
見マスレバ、私ハ矢張モウ少シ長ク二十箇  
年トカ二十五箇年ト云タヤウナコトニス

五厘ノ利廻ト假定シテ、ソレニ二分位ノ利  
鞘ヲ取ツテ四分五厘ノ利息トシテ、又取扱銀  
行ニハ六厘ノ利鞘ヲ與ヘテ五分カソコラノ  
資金ヲ供給サレルコトニシタナラバ、一番  
ガ、其邊ニ對スル御考ハドウデアリマセ  
ウカ御同致シマス、尙ホ昭和二年ノ特融法ニ  
置キマス  
實際ハ非常ナ手心ヲ加ヘラレテ、現ニ二分  
位ノ低利デ借リテ居ル銀行モ中々少クナイ  
ヤウニ私モ承知シテ居ル、若シサウデアル  
トナラバ是ハ六分二厘ト云フコトニナッテ  
居ルケレドモ、實際上ノ手心ハ大藏大臣ガ  
出來ルト云タヤウナコトニシテ、將來長イ  
年限ヲ拘束スルコトデアリ、又先刻武田君  
ノ仰シヤラレタヤウニ、政府ハ既ニ低金利  
政策ヲ執ツテ居ラレル、又此政策ハ長ク續ケ  
ラレルモノト考ヘルノデアリスマラ、伸  
縮ノ出來ルモノトシテ、尤モ餘リ伸サレテ  
ハ困ルノデアリマスガ、六分二厘ヲ五分ニ  
シ、四分ニモ下ゲルコトヲ大藏大臣ノ力デ  
出來ルヤウニ、サウ云タヤウニ郵便貯金  
手心ガ加ヘラレルコトニナッテ居ルノデア  
リマスカドウカ、又サウナッテ居ラヌトスレ  
バ、サウ云フ風ニナサル御意嚮ハナイカド  
ウカ其邊ヲ一つ御伺申上ダマス

## ○大久保政府委員 利率ノ點ニ付キマシテ

マス

策ヲ完成サセルコトニ御盡力ヲ願ヒタイト

トカ積立金ナドニ付テハ、私カラ申上グル

ハ大體案ノ通りデ行キタイト思ヒマスガ、先程モ申シマシタ通り、預金部全體ノ資金ノ構成カラ見マシテ、場合ニ依リマシテハ自ラ

ハ、矢張其問題ニ關聯シテ居ルノデアリマスガ、現在ノ不動產銀行ト云フモノハ、ド

下ルト云フコトモアルデアラウト思ヒマス今決ツテ居リマスノハソレダケデアリマス

チラカト云フトドウモ不動產ノ所有者ト風馬牛ノヤウナ觀ガアッテ、餘り不動產所有者

○小笠原委員 其點ヲ尙ホ一寸御伺シタイノデアリマスガ、特別融資ノ方ハ二分位ニナッテ居ル分モ少シハアルヤウデアリマスガ、是モサウ云フ手心ヲ加ヘルコトガ出來ルコトニナッテ居リマスカドウカ、或ハ其餘地ガナクテ六分二厘一律ト云フコトニナ

ノ苦痛ニ同情シタ營業振ハシテ居ラヌヤウニ思フノデアリマス、今日不動產ニ依ル收入ハ非常ニ減ツテ、不動產所有者ハ非常ニ苦

入ハ非常ニ減ツテ、不動產所有者ハ非常ニ苦

ンデ、利拂ヲスル爲ニハ相當生活ノ苦難ニ喘イデ居ル際ニ、其不動產取扱銀行ハト云

フト、相當巨額ナ積立金ヲシテ高率ナ配當

ヲシテ居ル、或ハ是等ノ銀行ノ店舗ガ東京トカサウ云フ中央ニアルガ爲ニ、地方ノ實情ニ對シテ少シ同情ガ薄イノデハナイカト

考ヘルノデアリマスガ、私ハ斯ウ云フ非常ニ於テハ、特ニ不動產銀行ガ農漁山村等ノ苦痛ノ狀況ヲ能ク察シテ、出來ルダケノ便宣ヲ圖ラネケレバナラヌト思フノデアリマス、サウシマスト其前ノ特融ニ於テハ日本

農工銀行等ニ於テモ出來ルダケ金利ガ安い

五分六厘ノ負擔附デ借リテ居ルモノヲ、相手方ニ對シテ自由ニ下ゲルト云フコトニナルト、政府ガ損ヲスルカ、中間銀行デ損ヲスルカ、恐ラク中間銀行モ困ルデアラウト思ヒマス、預金部モ今申ス通リノ資金構成ニナッテ居リマスカラ、茲ニ損ヲスル途ヲ豫メ設ケテ置クコトハ非常ニ困難デアルト思ヒ

マデモナク小笠原サン十分御承知ノ通り、一定ノ銀行信用ノ基礎ダケハドウシテモ必

要デアラウト思ヒマス、全國ニ何億ト云フ債權者ノ立場ト云フコトモ考ヘテヤラナケ

勸業債券、農工債券ヲ出シテ居ルノデ、其レバナラヌ、若シ今後非常ニ積立金ヲ少ク

弊シテ居ルニ拘ラズ一割ノ配當ヲ維持シ、巨額ノ積立金ヲスルノ必要ハナイト思ヒマスガ、此點ニ付テ特殊銀行當局者ノ頭ヲ變

ヘテ貰フヤウニ、銀行監督ト云フ方面カラ一つ御願シタイノデスガ、此點ニ付テノ御

考ハ如何デアリマスカ

○大久保政府委員 時局ニ鑑ミマシテ特殊銀行、特ニ勸業銀行等ニ於テハ先般來地方

ニ於テ從前カラ引續イテ居ル高利債ナドニ付テハソレヲ低下サセテ居リマス、是ハ一

律ニ下ゲルト云フコトデアリマス、引續キ農工銀行等ニ於テモ出來ルダケ金利ガ安い

五億圓ノ融資ヲナサレルト云フコトニナルト、勸業銀行其他ノ不動產銀行ト云フモノハ自行固有ノ業務ヲ怠ルヤウニナリハセヌ

カト思ヒマスガ、此點ニ付テノ御考ハ如何デアリマスカ、實ハ今マデニ配付ヲ受ケ

タ表ニ依テ見マスト、過去三十年間ニ勸業銀行、農工銀行及北海道拓殖銀行カラ十三億貸出スト云フコトニナツテ居ツタノニ、決

シテソレダケ貸出サレテ居ラヌ、尤モ戻ツタ

分モアル譯デアルトハ思ヒマスガ、所ガ今

牲ヲ拂ツテ一日モ早ク斯ウ云フ非常時ノ對

○小笠原委員 第八トシテ御伺シタイノ思フノデアリマスガ、是等ニ付テ銀行局長

ニナリマセウカドウカ、私モ銀行ガ相當ノ積立金ヲ持チ信用ヲ維持スルコトハ絶對ニ必要ダト思ヒマスガ、今日農村ガ非常ニ疲

弊シテ居ルニ拘ラズ一割ノ配當ヲ維持シ、巨額ノ積立金ヲスルノ必要ハナイト思ヒマスガ、此點ニ付テ特殊銀行當局者ノ頭ヲ變

ヘテ貰フヤウニ、銀行監督ト云フ方面カラ一つ御願シタイノデスガ、此點ニ付テノ御

考ハ如何デアリマスカ

○大久保政府委員 時局ニ鑑ミマシテ特殊

○大久保政府委員 日本銀行ガ直接致シマス場合ト違ヒマシテ、御承知ノ通り是ハ勸業銀行ガ預金部ニ對シマシテ、五分六厘ノ負擔附デ出マスノデ、負擔ナシデヤル場合ナラバ其ヤウナコトモ行ハレマスケレドモ、五分六厘ノ負擔附デ借リテ居ルモノヲ、相手方ニ對シテ自由ニ下ゲルト云フコトニナルト、政府ガ損ヲスルカ、中間銀行デ損ヲスルカ、恐ラク中間銀行モ困ルデアラウト思ヒマス、預金部モ今申ス通リノ資金構成ニナッテ居リマスカラ、茲ニ損ヲスル途ヲ豫メ設ケテ置クコトハ非常ニ困難デアルト思ヒ

是ニハ大口ノ分ヲ貸出スト云フ意味合モア  
リマセウガ、ソレニシテモ其貸出ニ付テハ  
十分其個々ニ付テ鑑定ヲシナケレバナラヌ  
ト思ヒマス、併ナガラ前ニ於テハ十三億ヲ  
貸出スト云フコトデアッタノニ、今回ハ前ノ  
三分ノ一程度ノ貸出デアルカラ、其利鞘ガ  
少イト云フヤウナコトカラシテ、特ニ其爲  
ニ行員、鑑定員等ヲ増員スルコトハシナイ  
コト、思ヒマス、サウナレバ今マデバサヘ勧  
業銀行カラノ借入ニ付テハ事實半年モ一年  
モ掛ルナド、云フ非難ガアリ、私共モ其緩  
慢ナコトヲ見テ居リマスガ、今回ナドハ一  
層サウ云フコトニナッテ、手不足ヲ感ズルノ  
結果、此法律ノ出ル爲ニ今マデ借リテ居ラ  
ヌ者ガ新規ニ融通ヲ受ケントスル場合、言  
ヒ換レバ新規ノ不動産ノ資金化ト云フコト  
ガ困難ニナッテ來ルト云フ懸念ガアルノデ  
ハナイカト思ヒマズガ、此點ニ對スル當局  
特別ノ御達デモ願テ、從來ノ業務ニハ一層  
精進セヨト云フヤウナ達デモ出サナケレ  
バ、各方面ニ色々惡影響ヲ及ボス憂ガアル  
ト思ヒマスノデ、此事ヲ御願旁々御考ヲ伺

○大久保政府委員 私モ感ヲ同ジウスル者  
デアリマス、御趣旨ノ如ク取計ツテ十分ニ  
其方ニ付テモ精進サセル積リデ居リマス  
○小笠原委員 第十トシテ伺ヒタイノハ、  
是デハ債務者ガ融通ヲ受ケラレルコトニ

セウケレドモ、先刻中島君モ言ハレル通り、  
餘リ手數料等ヲ加ヘラレテハ不動產所有者  
ノ方デハ非常ニ迷惑ヲ受ケナケレバナラヌ  
コトニナリマスノデ、其點ニ付テモ伺ヒタ  
イトイマス

萬圓ノ分ガ、僅ニ七百萬圓位シカ貸出サレ  
テ居ナイト云フ状況ハ、ドウモ不動産銀行  
ノ當局者ガ、非常時デアルト云フコトヲ痛  
切ニ頭ノ中ニ考ヘテ吳レナイト云フコトニ  
原因シテ居ルト思ヒマス、ソレデ今回斯ウ

リマセウガ、ソレニシテモ其貸出ニ付テハ  
十分其個々ニ付テ鑑定ヲシナケレバナラヌ  
ト思ヒマス、併ナガラ前ニ於テハ十三億ヲ  
貸出スト云フコトデアッタノニ、今回ハ前ノ  
三分ノ一定程度ノ貸出デアルカラ、其利鞘ガ

ナッテ居ルガ、此債務者ガ融通ヲ受クル場合

○大久保政府委員 債務者ガ銀行ヲ通ジテ  
ヤルカドウカト云フ御話デスガ、初メハ

云フ法律ガ出來テ補償サレルト云フコトニ  
付テハ、吾々ハマダ比補償金額等ニ付テハ

二行員、鑑定員等ヲ増員スルコトハシナイ  
コト、思ヒマス、サウナレバ今マデ、サヘ勧  
業銀行カラノ借入ニ付テハ事實半年モ一年  
モ掛ルナド、云フ非難ガアリ、私共モ其緩  
慢ナコトヲ見テ居リマスガ、今回ナドハ一

スレバ、或ハ當該銀行ガ保證ヲスルト云フ  
ヤウナコトニナッテ、實際ハ六分二厘ノ金デ  
アリナガラ、其爲ニ債務者ハ非常ニ高イモ  
ノヲ負擔シナケレバナラヌト云フコトニナ  
ル、一方デハ返済ヲシテ居リナガラ、一方

其銀行ヲ通シテ請オハ致シマス 併ナガテ  
實際ノ貸出ハ直接談判ニナリマシテ、債務  
者自身ニ來マスカラ、隨テ債務者ハ六分ニ  
厘ノ恩典ニ浴スル譯デアリマス、前ノ銀行  
ガ保證ヲスルカドウカト云フコトデスガ、  
直接談判デアリマスカラ、既ニ其問題ニ付

色々修正モ申上ケタイト思元居リマスガ  
既ニ五億出サレルト云フコトニナツタ以上  
ハ、此法ノ精神ニ鑑ミテ五億ハ必ず容易ニ  
簡便ニ成ベク短期間ニ出ス、斯ウ云々タコト  
ヲ不動産銀行ノ當局者ノ頭ニ滲ミ込マセル  
ヤウニ大藏當局ノ方カラ特別ノ御達ヲ願フ

層サウ云フコトニナッテ、手不足ヲ感ズルノ  
結果、此法律ノ出ル爲ニ今マデ借りテ居ラ  
ヌ者ガ新規ニ融通ヲ受ケントスル場合、言  
ヒ換レバ新規ノ不動産ノ資金化ト云フコト  
ガ困難ニナッテ來ルト云フ懸念ガアルノデ

デハ保證債務ノ責任ガ何時マデモ残ツテ、ソ  
レニ對スル保證料ヲ拂<sup>ツ</sup>テ行カナケレバナ  
ラヌト云フコトニ見受ケルノデアリマス  
ガ、其點ニ對スル御考ハ如何デアリマセウ  
カ、尙ホ先刻モ六分二厘ノ時ニ話ガ出タノ

テハ縁ハ切レルノデアリマス、勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行等ニ於テハ不動産ト云フ擔保ヲ取ツテヤッテ居ルコトデアリマスカラ、保證金ナド、云フ問題ハナイコト、承知シテ居リマス、其他鑑定トカ、色

ヤウニト云フコトヲ特ニ御願申上ゲテ私ノ  
質問ヲ終リマス

該銀行又ハ其債務者ニ對シトアリマスカラ、債務者モ六分二厘<sup>デ</sup>融通ヲ受ケラレルモノト見受ケラレルノデアリマス、債務者トシテハ六分二厘<sup>デ</sup>受ケラレル積リデアルノニ、サウ高イ手數料ヲ拂ッテハ堪<sup>ツタ</sup>モノノデアリマセヌカラ、其點ニ付テ出來ルダケ六分二厘<sup>デ</sup>受ケラレル交渉ハスルデアリマ

色手數料ノ如キハ取ラセナイ積リデアリマス、是ハ特殊銀行ニ十分勉強シテヤツテ貰フト云フ建前デ行ク積リデアリマス  
○小笠原委員 私ノ質問ハ大體是デ終タ  
ノデアリマスガ、實ハ此融資法ニ基イテ五  
億圓ノ貸出ヲサレルコトハ、最モ今日ノ時  
局ニ必要ノコトデアルト考ヘマスケレド  
モ、今マデノ經過ヲ見マスト、此前ノ五千

午後三時五十三分散會

第六類第一號 不動產融資及損失補償法案(政府提出)委員會議錄

第三回 昭和七年八月二十九日

昭和七年八月二十九日印刷

昭和七年八月三十日發行

衆議院事務局

印刷者  
民友社印刷所